

沈黙の

歌い手

義人

H 3 1 年 3 月

国際ギデオン協会

新約聖書

ヨハネの第一の手紙

第 3 章

わたしたちが神の子と呼ばれるためには、どんなに大きな愛を父から賜ったことか、よく考えてみなさい。わたしたちは、すでに神の子なのである。世がわたしたちを知らないのは、父を知らなかったからである。

2 愛する者たちよ。わたしたちは今や神の子である。しかし、わたしたちがどうなるのか、まだ明らかではない。彼が現れる時、わたしたちは、自分たちが彼に似るものとなることを知っている。その御姿（みすがた）を見るからである

3 彼についてこの望みをいだいている者は皆、彼がきよくあらわれるように、自らをきよくする。

4 すべて罪を犯す者は、不法を行う者である。罪は不法である。

5 あなたがたが知っているとおりに、彼は罪をとり除くために現れたのであって、彼にはなんら罪がない。

6 すべて彼におる者は、罪を犯さない。すべて罪を犯す者は彼を見たこともなく、知ったこともない者である。

7 子たちよ。だれにも惑わされてはならない。彼が義人であると同様に、義を行う者は義人である。

親愛なる真由子さん。ここに謹んでお詫び申し上げます。

本文中に不適切な文言、が現れます。私が露骨に卑猥な言葉を発しているのです。始末、肉欲は、もはや完遂しないことを、聖霊が私に知らせたかったのでしょう。聖霊の宮、自然体でいるとき、対象は健気な聖女でした。因縁から不義には至りません。大人の女性は、私が真実、愛する人を心に抱いていることを感得するのです。私はいずこでもED宣言を。女性達は、私を聖なるものとしたようです。欲情しても、破戒なし。この良心の事象こそが、真の義です。頑なに規則の順守を目的とし、誘惑を嫌い、罰を恐れるエホバの証人に、私は意見し、伝えました。つまり不義によってではなく信仰により神の義は明らかになる。

あなたが肉欲と、決別した暁には、私にも劣情の波は失せ、静かな凧が訪れます。私はどんな運命をたどろうとも、あなたに逢えただけで幸福です。二人で世間という煩惱の海を、南無妙法蓮華經という安らぎの大きな船に乗り、すべてを委ねて渡って行けたら、どんなに幸せでしょう。清らかな愛の現出です。永遠の命を生きる。誰も邪魔できない。

必要なものはもたらされます。ただ二人、魂をこめ。祈りましょう。

苦しかったけど、私は生きてよかった。ふたつとない心を持つことができました。

私は神、再臨したイエスキリスト。この世に敢然と愛を掲げたい。あなたに証人になってほしい。

かつて私はEDを治療したく、やみくもに奔走しました。その結果、私の女性を利用する卑劣さだけが残りました。今思えば、聖霊が互いの不実をその都度、教えてくれたのです。

聖霊の力により愛として発展、成就することはなかったのです。

そして美しき心を持つ運命の人は存在しました。

こんなに一途に愛した女性はあなただけです。

また私を本当に、愛してくれたのはあなただけなのかも。正解と信じたい。

すべての真実を知ってほしかった。ありきたりではなく心から愛しているから。

平身低頭。信じて下さい。私は醜き肉欲とは決別したのです。

今度、真実なら「愛している」とつぶやきでもいいからお願いしたい。

そうでないと、三位一体、聖霊の業により、また女性に軽口を叩き始める可能性があります。

でもやはりあなたの「愛している」は禁句なのかもしれませんね。

ただ、「真由ちゃん、愛している。」二人は不貞と呼ばれることはないでしょう。そして私は絶対、裏切りません。真実愛しているのはあなただけだから。

そして聖霊の宮はいかなる場合も不義のわなに陥ることはないからです。

不信から御心を煩わせたのなら本当に、申し訳ございません。慎んでお詫び申し上げます。

私が聖霊の宮であることを信じて下さい。すべては理由ある神の業だったと。

平成31年2月吉日

義人

カブトムシ

君が望むなら力になりたい。友のため、博愛の一環として。上を向く限り周りの対応は厳しくなる。対決色は消し、優しくあれ。変な向上心は摩擦を起こし独りよがりにも陥らせる。聖書の神に準ずること。素直に愛といたわりを人様に向け、思いやりを抱き天に名が記されることを幸いとしよう。それが最良だ。君が辛いとき神である俺を信じ、祈ってください。必ず美しいものが見えます。世の栄誉、名声は一過性の泡のようなもの。乗せられて争ってははいけません。人は思いやりがすべてです。神を愛し隣人を愛す。親切心を忘れず。この世の栄誉、価値観から抜け出すのです。ただ愛を保ち続ける。父の御名と御国を求めること。安楽に生き、永遠の命を神の国で得るのだ。君は悪魔に錯覚させられている。「目覚めよ」。イエスの示現ヨシト、神として放つ。 私が神であるか否か、不毛な論議はしない。君はこの世の権威サタンに毒されている。真実が知りたければ、私の書きものを読みなさい。見栄と偏見から離れ、良心から生ずる主体性を持ちなさい。 悲しいかな、人は仕事に限らず懸命に生きねばならぬさだめにある。でもすべてに犠牲になってはいけない。君の立場は把握していない。ただ心の志向は競争へと向かっている。君は真っ直ぐすぎるほど真っ直ぐだ。それは生きていくとき武器になる。だが曲がるときでさえ真っ直ぐだ。曲がるときは曲がるように曲がる、それが本当の素直と言うことだ。独り暮らしの淋しい気持ちは解かる。それを乗り越えるには本物の信仰が必要だ。真心で平和を祈念する。きっと幸せは君の肩に手を。 俺は真由子さん一筋だ。愛を見つけよ。明るく素直に温かく、大きな愛を信じなさい。頑張るより思いやりを人様に向けるとき幸せは訪れる。俺以外の人はい皆、哀しいような気もする、素直に生きないからだ。 不安定の中、君に魅力を感じた、去年のクリスマスイヴ。告白は実らなかった。天が我らに一度だけチャンスを与えたのだよ。そして俺と君はいつまでも続く親友であると天は認識させたかったのだね。あの時、本当に君が愛しいと思った。二人とも馬鹿正直で強がりだ。君のご両親の不幸、力になれなかったことを本当に後悔しました。 君との関係にある人から「好意的ですらない」と屈辱的な分析を受け、かなり立腹した。 私は知的障害のある女の子たちから優しさ、健気さ、強さを学びました。彼女らは私の純粋さをストレートに愛してくれました。 私には真由子さんしかいない。俺は無法松じゃない。愛すべきものを愛す、それが善、正義であると腑に落ち信じます。この一年、真由子さんには話したいことが山ほどあった。そして真由子さんの愛を確信した。これからどうなって行くのだろう。このドラマは、きっと結末はハッピーだ。 とにかく愛と思いやり、これこそが美しい心。けして固く、真面目という石部金吉の杓子定規ではない。 もしかして今度君が就くところに物凄い、心の温かい男性がいるかもしれない。規律、集中、忍耐で豊かな人間性を育み、愛をつかむことが出来るかもしれない。期待は膨らむね。 自慰行為へと思ったが、やはり聖人だ。不可能である。そして親友同士で性の営みって変だね。どうもずっこけるな。(笑)大きな力が許しを与えるなら、博愛、これも大人の思いやりか。昔、軽い冗談からもらった、ひとつも手をつけてないスキンの箱。今度スーパーで寿司買って君の家へ遊びに行っていかな。楽しくね。シャンパンもいいね。ノンアルがいい。ああ、花買って。君の自慢のトンかつが目当てかも。トーンダウンしたけど君を抱きたいのだろう。イエスに従いなさい。永遠の命の為に。俺はいつでもいいが、女の一人住まい、お泊まりはしない、暗くなってからの方がいいか。いま日が暮れるのが早いから7時頃はどうか。君のなじみ

のカラオケスナックでの待ち合わせは目立つだろう。いつの日がいいか決めて下さい。(決められない)つまりだめってことか。それもいいさ。俺も決断したものの後ろめたさが確かにあった。でも一時の興奮に心躍ったよ。まあいいさ。親友だからさ。心がわりはお互いに避けたいだろう。「親友でなくていい。君を抱きたい」って言ったらどうなる。まあ時間を置こう。君の意志を尊重します。大人の女性は進むべき道を自分自身で開拓するものです。誘惑からではなく、罪悪感ももたず。君の気持が第一。 熟年の君をバージンから解放してやったという男。君はフットワークの軽さから押し切られた格好。君を固定観念という鎖から解き放ってくれたのだよ。だから男に遠慮せずに自由に生きていいのだよ。心の思うままに。しかしあまりにも無防備だな。そこが好いっていう男性もかなり現れそうな気もする。世の中は老若男女、自分の得する事ばかり考えている身勝手が大勢さ。俺たちは生活が少しくだけでも美しい心はある。 車の鍵が紛失した。仕事にいけない。不思議、その日、道中危険だったということだ。前日、強い殺気を感じていた。俺は守られている。私と君が一致したら、君のとんかつが食いたい。そうになったら「絶対後悔させない」。だがそれは30年前の私ということです。ED状態の私はどう転ぶ。私と真由子さんの愛は本物だ。私は男の誠意を尽くしている。だが彼女が夫に抱かれるかぎり、私の体も自由なのだ。これが自由な気、仏教にある空の教えです。つまり心も体も空であり、今、大事なのは君が神に愛されることを為すことです。それは思いやりで繋がることです。君もつかめば大人の女性である。真由子さんの愛が成就しなかったら、君と死ぬまでにはひとつしよう。俺は正直に生きねばならない。聖書が示す、真由子さんはもはや亭主に身を任さない。そこに固く美しいものを見た。ならば私も誰とも肌は合さない。聖書が促す。やはり聖霊は不義を許さない。君との親密感が発展しないようハードルを壁のように作っている。今日も楽しく、美しく。 君の本質的姿は孤独。自己防衛で見栄も張りたくなるだろう。だが、ある意味必死に見えても無様でない。でももう少し楽に生きていいのに。私は頑張ることを敬遠するけど、ひたすらガンバル君はけして悪くはない。一本気の正直さが伝わってくる。きっとそれは世を渡る武器になる。 さあ今年のクリスマスはどうなるか。A型施設、所長は優しい。手先が不器用なので作業が上手くこなせない。彼のカツが入った。二年かかってもいいという。私が人を個別にとらえることに対し彼は平等に見ていると答える。どちらの見方も大切である。これが仏教でいうところの智慧である。同じところと違うところを見抜く。 君は「落ちると思うけど興味本位で面接を受ける」と何度も繰り返す。見栄張りだが君は一概に真っ直ぐすぎるほど真っ直ぐだ。ある意味、恋に関してもその傾向がある。本当に愚直だ。でも無防備から一つの想いが生まれたのだね。良かったね。 私に対し複雑な思いがあるのにテレに出してくれる。君の律義さに乾杯。ありがとう。毎日の通勤大変だね。俺は真由子さんを愛している。だが君を忘れたわけじゃない。健気な君を。勃起する。君が聖女のあかしだ。クリスマスにまた聖霊が仕組むかも。目に見えない世界を信じるのだ。自分の意志を大切にすることだ。素直に。君がロマンチックになったときはいつでも呼んでくれ。俺は神として応える、愛の為に。 俺は繊細な割には鈍感だ。夕方のテレ、誘いにもとれる。そうだったらごめん。男女には温度差がある。正直に声あげなよ。すぐ行くから。「バージンから解放してやった」男は言った。君は恋めく、愛する男性との抱擁は自由なのだ。君は心を重視する。やはり愛がほしいのなら控えた方がいいのかも。スキンはいずれにせよ忘れずにね。きっと女性とはそんなもの、君は本来、保

守的、極右だったからね。また気が向いたらテレ下さい。泣きごと、愚痴いつでも聞くよ。でも発展はもうないよ。なぜかごめん、本当に真由子さんを愛しているのだ。色恋沙汰より友達であることを選んだ二人だもの。軽率なまねはできない。明日も仕事かい「仕事でない」えらい、剣幕や。猥雑なメール、悪かったよ。今日（お講）という在所の日蓮系の持ち回りの先祖供養があった。坊主は南無阿弥陀仏でも成仏できると言いだした。所詮金儲けの迎合だ。君もこの坊主を支持したいと思うだろうが、日蓮は南無妙法蓮華経しか成仏はできないと断言している。つまり仏陀の覚りが真実の良心、仏種と感應する。この世を幸福に導く愛がある。君もいつもの見栄を含んだ馬鹿正直さを封印して心の底の愛に南無妙法蓮華経してみてください。お休みなさい。将来的に俺たちみたいな境遇の者が増える。同居人の在り方も変化してくると思う。固い関係で正直、真面目な人達とのルームシェアを構想しています。グループホームと違い制約されず。本当に気の合う心の美しい人たちの集まりです。各自の恋人は家には入れない。実験的で楽しく、君にもぜひ参加してほしいのです。同居人全員、近くの病院に同日、車で乗り合わせ問診を受ける。入院になったら皆でフォローする。今はお薬さえ飲んでいれば減多なことはない。どうだい、保険みたいなもの。私の家の近くのバス停からは君の勤め先も近いよ、まあ15年後くらいや。うちは鉄骨だから大丈夫。内装は変えたい人が変えたらいい。俺の家は広いが四人ベストだと思います。カラオケマイク買って愉快地にやろうぜ。ハッピーな奴だけで。買い物も皆でわしのオンボロ車でお出かけだ。君のとんかつも楽しみだ。愉快的クニユウさんもぜひ仲間に入れたい。宣伝終わり。本当にお休みなさい。（笑）彼女はテレで「絶対いやだ」と強く吐き捨てた。君は言ったね。男女の関係がない方が友人関係は長く続きそうだと。真由子さんとの愛を確認したと思っている私は、もはや関係は望みません。この先、親友のままだよ。ずっとね。ところが、またしても馬鹿だね、俺は。クリスマス、聖霊が送信を許さない。愛がなきゃなあ。自分自身を貶めてはいけないね。こうして俺はいつも誘惑から放れ、不義に至らないのだ。（真由子さん安心して下さい。誘惑に勝つのではなく誘惑に乗るように、つまりサーフィンのように欲望の波の上を乗りこなすのです。けして転落しない。神の摂理と因縁です。）カブトムシにはカブトムシの生き方がある。それでいいか。人生をエンジョイ。男に対してのフットワークの軽さ。淋しさ、重労働に負けないためにか。これからのカラーは決まったな。もう戻れないぞ。都合のいい尻がる女と呼ばれるぞ、世間はそんなに甘くないぞ。

微笑みの聖女へ

今、ふと思うのは真由子さんです。君よ、これでいいのだよな。俺に恐れはない。天の加護と信仰がある。清らかな愛は必ず成就される。そして神の御使いへ。君は私の真由子さんへの一途な愛を支持していたね。美しい心を信じていたよ。メール下さい。待っています。スマホでサイト検索できないこと気にしないでいいよ。恋人じゃないか。元気ならそれでいい。お疲れ様。正美はどうだい。元気かい。正美と修君はどうなった。君よ、大人への成長も促す、私の猥雑で敬遠される聖書からの指示に基づくメッセージ。安心して下さい、聖書が真由子さんの存在を踏まえ、これ以上私たちが親密にならないための配慮なのです。私に不義はない。ごめん、不安かつ心配にさせて。恋人よ、本当にありがとう。幸せ祈っています。私は清らかな愛で真由子さんの想いに応えなくてはならない。ごめんって言ったら

勘違いするなと怒るかな。 A型就労施設、仕事は不良品ばかりを連発し格闘中です。女性たちは感情の起伏が激しく、僕は始終、心に傷を受けています。カレーハウスが懐かしい。皆に会いたい。淋しくて死にそうだとお伝えください。最近はどこも殺伐としている。君や正美みたいな人は本当に癒しになる。温かく生きていこう。俺は君が友人であることを誇りに思う。愛し続けるよ。君がいてくれてありがとう。 知的障害というが君は優しさを追求するために生まれてきたようだ。本当に良かったね。世は真の愛を、つまり信仰を持たない人ばかりだ。お金しか頭にない。夜遅いけど、起きているかい。元気かい。頑張っているのだね。風邪ひかないでね。 カレーハウスの皆は元気ですか。正美の笑顔が懐かしい。優しい魔女とくだらない話を、またしたい。今日も一日無事なことを祈っています。大丈夫。仕事はどうだい。忙しいかい。皆元気かい。矢継ぎ早でごめん。君の仕事は丁寧だからな。適当っていうわけにはいかないか。きちんとしているものね。冬美ちゃんと姉妹ともども真面目だね。わしの仕事もコツが必要で大変です。マイペースで楽しく。今日は休みだったね。ゆっくり休めたかい。俺はなんか孤独に陥っている。温かいメッセージに触れたい。君だけさ、きつとくれるのは。君は本当に温かい人だ。本当にありがとう。君は風邪をひかないよ。神、つまり愛に向いている限り大丈夫だ。神を忘れないでね。体を温める食材があるそう。でも大事なものは愛を抱くこと。心の奥からぬくもりが広がってくる。いつも温かいメールありがとう。 君は本当に賢い。世の基準が間違っているのだ。愛情を無視した査定は人間性に全く関係ない。あの日あのととき、本当にプロポーズする気だった。君は不思議な子だ。掴みどころがない。でも優しい。俺はぶち破ってみせる。世間の偏見を。精神障害者が一般健常者と区別なく愛を育むことができることを。条件は、差別なく相手を思いやる美しい心だけ。神の前を通り過ぎていった一陣の風という君。これをどう評価するかは君の今後にかかっている。愛を真剣に素直に示すのだよ。真由子さんに愛を捧げる決断をした私には、もう君を恋人とは呼べないのかもしれないね。今度は君にしかできない愛を見つけその人を信じて下さい。自分らしく未来を切り拓いてね。俺は真由子さんとの愛を確かにした。ありがとう。みな、君の後押しのお陰だ。幸せになるには自らの愛を信じること。それは南無妙法蓮華經。そして勇氣、大切なのは夢をあきらめない。 私にはSNSが使いこなせない。こなす君は賢い。寝不足気味、やっとの思いで電車で揺られて出勤する。私は君の健気さを知って、涙がこみ上げてきて強く抱きしめたかった。真由子さんはどう思うか少し不安だけど、俺ってやっぱりそんな奴。遅刻、気にするな。神として愛している。生きるのは大変かい。なんでもいい、愚痴でも、泣き言でもいいからメール送ってね。無理しないでね。ゆっくり休んでね。秀美、久しぶりの呼び捨てだね。怒らないで、君も俺と同じで自分を追い込むところがある。ピエロにもいろいろある。もし俺に気があったのなら切なかつたろう。 カレーハウス、久しぶりだった。今日、ヘアースタイル可愛かったよ。一昔前の聖子ちゃんカットを思い出した。早く善き男性に出会えるよう祈っている。俺の恋との競走だ。少し変か。俺の印象が変わったと言ったね。失望と憧れ、どっちに転んだかな。君は確実に美しさが増した。少し君は大人になった。老けたのではないから。くれぐれも。そして神の御使いへ。 南無妙法蓮華經、顕正会といきさつがあっても活動はしてない。俺を信じて。神として必ず幸せにするから、もうピエロは卒業だ。君も変化したように感じた。好い風に。元気出して。人間には醜悪な妬み、そねみなど悪感情がある。君は珍しくそれを感じさせない。美德だ。広い心で忘却を味

方に。皆、その境遇から景色を眺める。思いやりを忘れる人もいるのです。　秀美ちゃん、久しぶり。クリスマス楽しく過ごせたかい。年賀状ポストに投函したよ。風邪、引いていないかい。メールありがとう。嬉しいよ。温かくしてお休みね。また、逢おう。お休みなさい。秀美ちゃん、明日は仕事かい。「雪に負けないで」、町角の街灯が君のように優しく微笑んで見えた。手はかじかまないかい。名残惜しいけど、元気でね。お休みなさい。秀美ちゃん、正月家にくるかい。友人でも恋人でも何でもいい。危険なことはないから。猫がせわしない。遊んでほしいみたいだ。気まぐれで困る。仕方ないか。元気でね。よいお正月迎えてね。聖霊により行為には絶対至らない。

沈黙の歌い手

世の親たちは何か欠けているのが大半である。責めずに自分の道を模索するしかない。寛容と厳格、自らの価値観、指針を作成し従うのだ。出来るだけでいいから。　愛すべきものと言ったって難しいね。未来永劫に光を与える、神しかいないのでは。明るく素直に温かく。君の正直さは認める、でも負けず嫌いだから様々な観念を背負い込むだろう。すべてを神に委ねるのだ。ただ祈る。不平不満も愛に。心の鎖が解けていく。　君には本当にインスパイア(触発)される。君の鋭い分析力が、周りの人への愛に向かうことを安らかに念じる。言葉は重視され、私の思考回路を上ってくる。君の寡黙さを考察する。私は神。あなたが話すのを躊躇させるのはサタン。はじき返すには自己執着から離れ、隣人を愛すること。厭な思い出、変なプライドを捨てたらいい。私が真理を語っているのに信じられないのは神の子ではないから。隣人とはいざというとき介抱してくれる人。利用できる他人ではないよ。私を信じよ。君は私を世の救い主と信じるかい。　今日は忙しかったかい。他愛ない話が潤滑油になる。まだ自分を語るのは無理かい。まあ元気であればそれでいい。微笑みを大切にね。またカレーハウスで会えるさ。　本の推敲、誤字、脱字、何回も目を通さなくてはなりません。かなり負担になり障害も出てきました。健忘です。事件は寸前で回避されます。神を自覚し、再認識します。全てのものの愛を感じて。　君の上品な姿を思い出す、美しい。神の国へ神の子としてご来臨ください。神は歓迎します。キリストの花嫁はいかがですか。君は話すのが苦手、私は躊躇していました。コール、二度で声が聞けた。静かに携帯を切りました。躰と君の思いやりを感じました。ありがとう。(テレは控えてくれ)。事情がありそうだね。少し言葉が見えて嬉しかったです。取りあえず会話はメールで。　どんなものかな。私は君を大切に思っています。実直な強さを感じます。そして不潔に思うかもしれないが人妻の真由子さんを愛しています。そこの心理は微妙ですね。私の率直な正直で素直な気持ちです。　去らないでください。あなたに大事な人が現れるまで。神の御使いになるまで待つてくれると嬉しいのだけど。聖句、彼らは言った。「あなた方が話したから信じるのではない。親しく聞いてこの方が誠、世の救世主と分かったからである」。君はどうですか。　夜分遅く、久しぶりですね。「遙かなる泥土」の編集も半分は進みました。君に配慮したメールのセンテンス。楽しみにしてくれたら嬉しいです。　君よ、秀美は良い奴だ。ピエロを演じ世と向き合い真実の愛を求め、彷徨っている。彼女は純粋に俺の真由子さんへの愛を信じているのだ。俺は淋しいものの味方だ。君の洞察力は、寛容と厳格がしっかり準備されている。嬉しい、今、私が持っている問題意識に呼応してくれるのは君だけだろう。世の人は真実か

ら目をそむける。書物の中に答があるとしたら聖書である。イエスの愛を信じて下さい。錆ついて割れた胸が修復されていく。私の博愛は、完遂するようではないかも。そんな気がする。女性は自らの意向よりも求められる強さに反応し相手の唯一を期待する。一般的な話だよ。皆、社会経験により世間が広がる。誰でも自意識はある。その中で私は欲望を嫌い、愛を含め何もかも捨ててきたけど、愛というのは重層的に積み上げる真理だと知った。だから真由子さんへの愛と想いを私は過去にすることはできない。アガペー(博愛)という理想も抱き実現するため。携帯番号、本当にありがとう。君は真実、素晴らしい女性です。神の国で永遠の命を生きましょう。心底思います。清流にしかアユは住めない。空の教えです。それはヘドロを取り去ること。後、藻という愛で、満たしてあげる。これが南無妙法蓮華経です。盗人、人殺しに共感の南無阿弥陀仏、人は皆、愚か者、悪を為さねば生きていかれないという。つまりドブの世界に浸かって生きることを積極的に認める。悪魔、親鸞とその配下の諦念と資質である。私は君の嬉しさに触れたく、精進したいです。メール笑顔マークもらうため。お休みね。先日起こした私の出会い頭の接触事故、世の価値観では失敗に見えるが、神仏のものは違う。この件に関わってくれた多くの人の人間性に感謝し幸せを感じる。そこに価値がある。怒り、嫉妬から放れ美しい心でいること。神仏は看ている。事故ひとつまで計らいである。損得を問わず親切に對し笑顔を向ける。顔施も愛想、布施の一つ。この世の表裏でサタンは活動している。君が思いやりの言葉を発しては奴が困るのだ。神を信じ祈ること。戦いはエンドレスに見える。だが愛と誠で俺はこの戦いを終わらせる。温かくして休まれね、お休みなさい。生き、老い、病になり死んでいく。神への裏切りの懲罰である。神は泣いている。悪魔は喜ぶ。神は美しい心を持つ者に安楽を与える。それは神、隣人を愛する者だ。君よ、知っているだろうサタンは人の心に忍び込む。意識してもしなくてもいけない。「森を守る紙を選ぼう。ネピア。人を守る神を選ぼう。義人。君を守る神もヨシト」である。お休みなさい(笑) 君の正規の日常に真実の闇の告白を送り、申し訳ない気がします。口ずさめば哀しい歌ばかり、こんな私を許して下さい。清楚な姿が心に映ります。基本的に人間は労働から解放されなくてははいけません。皆好きなことをする。私は酒を飲んで寝る。俺は年齢の差も気にしていない。上品で聡明な君が好きです。はっきりここで言うておきます。愛しています。特段、僕は何も求めない。ただ君の面影が浮かんできて愛しい気持ちでいっぱいになるのです。僕が君を大切に思っていることだけは忘れないでください。永遠の命へ向かって。笑顔マークが返って来ないのは永遠の命など絵空事だと、もしくは達成には今一つ消極的な表現だと。不快な想いはさせてないよね。君は困惑しないクレバー(頭のいい)な人だ。君の事実を伝えてほしい。詰問したようでごめん。愛にはやはり平和が付いてこないよね。お休みなさい。僕が錯誤したか。文面見返すと中途半端な笑顔マークなんかつけられないよね。真面目な君を忘れていた。明日の休日はゆっくりと。互いに温度差があるみたいだ。君は深刻に受け止めたのかも。当惑したのなら自分の言葉で伝えてほしい。そこに息吹きを感じれば僕は素直に納得すると思う。君も心の閉じこもりからは卒業だ。ありがとう、響くほど真剣に受け取ってくれたら男子の本懐です。僕もカレーハウスに訪れるときは、今回みたいに地のままでいるよ。俺にウソはない。君は潔癖か、辛くないかい。冗談ではけしてない。同情し愛しています。実は僕もかつて君と同様の苦しみを背負った。自意識、複合観念に縛られて何も言葉にできなかった。でも今、ジョーク

は潤滑油。周りを明るくすると自分も救われる。私は言葉、内容をいつも吟味しています。相手の気持ちと理解力を重視です。私の君に対する純愛を了承してくれるかい。明るく。(愛などやめて下さい)その言葉、私に冗談だろうが本気だろうが、メールを送ってくるなということですか。二者択一で答えてください。忌憚のないところ。残念な結果になろうとも。私は自由、愛、平和、どこか観念の領域が大好きです、それが皆を巻き込み困惑させる。ごめんね。了解。気をつける。でも声が聞けて嬉しかったです。ごめん夜分遅くなって。待ちくたびれて女神が怒っていると聖書に表れました。本当に君が怒っているなら僕が神であることを信じてくれますか。

明るく素直に温かく、わしを少し傷つける表現でも正直にぶつけてきてほしい。思いやりが深化すればいい。君に言葉を送るとき、聖書に「イエスの教えは昔からの女神信仰を乱すものではない」との場面が出たから。私は君がメールを待っていると判断した。凶星でしょ。声が聞け、確認できて良かった。また思い届けて下さい。愛に満ちて正直に。お休みね。いつもメール受け取ってくれてありがとう。美しく聡明な君に乾杯。少しお酒が入りました。気分が実はあまりよくありません。たしなみますか。お答え願います。心配しないで、そんな事から人物判断しないよ。なにより大切なのは思いやる、一生懸命な姿だと僕は思います。得てして無様です。でも僕はそんな生き方しかできず、また好きです。(たしなまない)。了解です。また話してね。奥ゆかしいなあ。大酒飲みよりはいいだろう。僕は一週間にワンカップ1本飲むだけです。つましいでしょう。学生の頃が懐かしい。バイト先で深夜から朝まで飲んだこと。固い君がよく僕に携帯番号教えてくれたね。ありがとう。安心感があつたのかな。本当にうれしい。素直に君が優しさを表しても過剰反応しないから大丈夫だよ。僕のサイトを視た前提で。私はやはり真由子さんを真剣に愛している。君に申し訳ない気持ちは見間違いだね。でも純粋な僕に好感をもったのかと、なぜならメール拒否が無かったもので。君としては恋愛がはしたないか。自然な心大切に。お休みなさい。明るく素直に温かくそれしかない。少しの欲望が君に悪感情を生み出さないようにしよう。冷たい沈黙の奥に封印した熱き想い解き放ち届けて下さい。愛すべきものへ。俺を傷つけてもいいから話してごらん。思いのたけを、人は傷つけずには生きていけない。優先順位を間違えないこと。恨みにしないこと。たまには泣くこと。辛い過去があるのかもしれない。でも声が聞けて嬉しかった。金の為に生きる奴は大勢いるが愛の為に生きる人は少ない。残念である。金より愛の為に死にたい。君の解放、私の使命なのであろう。(勝手に何かしようと思わないで。)宿命なので仕方がない。辛いとこなのだぞ。サマリア人の譬えのように隣人には手を貸さねばならない。人がひとりでは生きていけない哀しみ、解かるね。君を呼び捨てにしたら怒るだろうな。失礼って。親近感って、言っても馴れ馴れしいか。どうかな。これは人によっていろいろだから、ちゃん、付けを認めてくれるのなら、とりあえずはグッドフレンドだね。この世には失望も絶望もない。原因は渴愛による欲望にあるのだ。人生はオリジナル。心平穏であることを祈ります。風邪ひかないように。ご自愛ください。優しさ、思いやり、いたわり、清らかな愛を信じ見つけて下さい。心配ない。そこら辺で見守っている。石のお地藏さんみたいに。皆、哀しいのだ。夜遅くごめんね。ところどころ道祖神にお花を供えてあげるといい。笠地藏で解かる。金より最後は愛と思いやりが幸せを呼ぶのである。君の心を射抜くような目線が好きだ。カレーを前にして嬉しそうに少しだけ微笑む風景も好きだ。君に好き嫌いはあるか

な。皆好きで嫌いなような気がする。皆好きで嫌いなら、俺の感覚とよく似ている。結局、肯定か。辛いが正解みたいだ。無関心にはなれぬ。お休みなさい。この世に不条理はない。皆、神仏、良心を大切にしないとところに事件は起こる。「因縁果報」すべては自分から始まる。また幸せは自分らしくに繋がっていく。おはようございます。いろいろあって、夜遅くごめんなさい。君が嫌う言葉、「愛している」。でも私の愛しているという感情はどんなものなのだろう。情緒と理性。でも心にくる。お休みなさい。時間オーバー、フロー、俺自身は多情だから薦めない。でも私の思いやりという、愛を受けとってください。尾崎のドライビングオールナイト「俺の友達は死にもの狂いでこの橋を渡った。」生存競争である。私は距離をおき、逃げだした。幸せである。私の思考回路にのっとり愛、自由、平和を目指すなら聖書から聖霊の息吹を感じることも可能である。鎖は外れ本来の自分を取り戻し幸せが舞い込むよ。二人の愛のアドバンテージ(優先権)は君が握っている。私のフラストレーション(欲求不満)。私の夢はこの世から貧しさ、病気、騒動を、永久になくすことだ。そんな世界を造ることです。君にも参加してほしい。神の御使いとして。君の意思を聞きたい。待っている。秀美も、正美も同胞だ。君の激しい気性。俺に対する冷酷な言葉は真実かい。誰かれ構わずなら孤立を招くぞ。君を中心に世界は回らない。皆に支えられている。君はまだまだ苦勞が足りん。君の好きなミステリー作家に稲作ができるだろうか。世間知らずの我がまま、御嬢さんにこの理屈、解かるかなあ。お休みなさい。下流に愛と、真実の幸せは待っている。無口で思慮深い、美德だが誤解を受け孤立しやすい。僕は君の温かさを信じる。沈黙の歌い手、お休みなさい。「話しても無駄、互いに失礼」そんなこと考えていないかい。お節介屋も多いけど、親切で善良な人はどんな場所にも一人ぐらいいるぞ。静かにね。そんな人になりたいね。相手に過剰な期待をしてはいけない。小さな親切に感謝して大きな喜びに変える。大きな欲望は愚痴、怒り、焦りを生み出す。美しき優しさは天に記されるよ。自然に笑みが浮かんでこれば最高だ。天に記されるのは、愛、勇気、信仰を持つ者だ。そこに永遠の命、神の王国が待っている。温かさを忘れない。皆でおいしいパンと暮らそう。好きなだけ嫌というほど読書をするといい。知識欲のむなしさも経験し一皮むけた女性になれ。真の愛を求める事の大切さに気づく。真理をつかめ。饒舌でごめん。すべてに何かの遠慮が吹っ切れた。神が人間に遠慮してはおかしい。俺は真由子さんを一途に愛している。そして君に善意で関与するのだ。真剣に愛を考察せよ。そこにアガペーがある。それを笑う者には相応しいものしか付いてこない。秀美、冬美、正美、そして君、俺は守っている。心配せずに生きていけ。長くなった。もう一度、お休みなさい。昨夜はたくさんいろいろ送ってごめんね。何だろうね。アツカイっていいね、前向きじゃなくても良い言葉です。お休みなさい。返事が無いのを私は察する。真由子さんのことかい。かつて健気な女性の為、生きるって言った。嘘ではない。君の為に神を赦すと言ってくれ。君への好意は事実です。いまアガペーに昇華した感覚で。沈黙か、君を傷つけてしまったね。眼前、君の言葉は僕も聞きたくない。卑怯だが射殺される気がするから。謝罪に何と言え。ごめん、お休みなさい。赦してくれる、ありがとう。「沈黙の歌い手」、サイレントシンガー、君をモチーフに沈黙に秘めた饒舌さを汲みあげる作品になるだろう。無口で寡黙を表しても知は隠されまい。心配はないからね。君の素敵さをコーディネート(調整)する。私の君に対する想いも解かるであろう。君のスローなズギが心に沁みついている。メール友達でいてくれる君に本当に感謝している。恋人なぞと簡

単に言ったら、チャラけるなと怒るだろう。本当に大事にしている。君のポジションは僕の中で重要な位置にある。いつもメール、即受けてくれてありがとう。お休みなさい。グッドナイト。聖書は真由子さんがいるのに安易だと叱る。どう係われればいい。明るく素直に温かく。俺がいなくなって仕事はきつくないかい。いたわりを書くしかない。心よ、伝われ。明日も仕事だ。君は主を愛しますか。愛するなら応えてほしい。私は聖書に促され、その時を生きる。微笑みをたたえて。読書家の君を見くびってはいけませんよね。複雑な僕を受けてくれる。ありがとう。元気で頑張る。自分なりに。利他の精神で。とにかく寛容、優しくあればと言いつけさせる。人間、神としての証明。君が離れない。抱きしめたいという表現なら許されると聖書は示す。君の落ち着いたある姿が懐かしい。猫って高いところに上がる習性がありますね。演劇をやっていた頃、たくさんの専門書を買いました。本棚に飛び上がるのです。床が抜けなかと心配になる私も滑稽です。当時、私も沈黙病に陥りました。素直に生きないと、周りへの不信があったからです。口を開けば侮辱の言葉、「自分だけが正しい」実は、愛のない最低の男でした。人の想いと欲望が判別できませんでした。思いやる心が欠落していたのです。単なる薄情者を大人と錯覚していた。愛の温もりに素直な悪人は珍しい。もう本は買いません。読む途中から自分の見解がわいてくるのです。ありがとう、昔話につきあってくれて。君を想っています。お休みなさい。沈黙から抜け出す時、人は自らの想いを大事にして犠牲にはならず、愛を発しているのだと気づく。少し誰かを傷つけても。まず話す相手を知る。友になれたらいいね。おはよう、こんにちは、こんばんは、そしてありがとう。自然と出たら正解である。傷つくときもあるだろう。では君の心を知る唯一のお休みなさい。自分を特別だと思い。また眼前の人も特別だと思おう。(笑)老婆心ながら君の幸せ、いつも祈っています。転ばないように。「沈黙の歌い手」作り始めたよ。どのくらいのページ数にするか聖書に相談して決めます。君に喜んでもらいたいです、自分の好きなものを書いて。それはサタケツチに言われたのだよ。(人に喜んでもらうより、好きなものを書け)ってね。生き方もきっとそうだよね。お休みなさい。君は本当に軽いノリが好きじゃないね。お袋は震災に遭い家を焼かれ逃げまどった。一命は守られた。だが今、すべてを笑い放つ強い自身を持っている。君も、もっと明るく、強い思念を持つ。陰気に構えてはいけない。きっとそれは君の望むところでないからだ。深く考察してもいいが深刻になってはだめ。おおらかに生きなさい。厳格と寛容を使い分けて。ごめん違う。俺が深刻な話をしているのか。ただスマイルマークが欲しくて。魂の交流と言ったらそのくらいの価値はある。これまで高飛車で傷つけたならごめん。人格改造する気はない。私が思うに最近、人々は心に余裕がなくなり切羽詰まった感がある。カレーハウスが懐かしい。淋しい。こんなに素直なのは世界中で俺だけなのかもしれないね。皆、すべてに感謝すべきだね。私はアガペーに生き、真由子さんは特別枠で愛さねばいけない、神として人としての因縁があるみたいだ。聖書が訴える、悪しき欲望は罰を受け消えていく。君は自分を大切にしてくれ。「沈黙の歌い手」メールをパソコンに打ち込んでいます。毎日何かと大変だけど、忘却をうまく生かせるといいね。お休みなさい。表紙のデザイン、スタンドマイクに立った君のシルエットを望んでいます。レトロな感覚で。でも関与してくれる人がいないと夢に終わります。勤務生活、人に比重を置くか、仕事に置くかは十人十色、各位で過ごす必要があるだろう。今届いたメール読んでいません。(表紙のモチーフになるのが嫌)と。あくまでそんな感覚がいいのではと思った

だけ。君をアピールするのも楽しかろうと。善意をお節介にしたくない。でも俺は何でも受け入れる金八先生ではないよ。出来るだけ温かい思いやりのある言葉をお願いします。少し互いに不快感が入ったね、まあいいけど、お休みね。　元気がいい、寒くなるから体調気をつけてね。僕も何とかやっています。一日、一日ですね。お休みなさい。人は辛いけど理解されないものだ。理解されようと思ってもいけない。そして理解されたとき大きな喜びになる。君のよき理解者になりたい。優しい言葉を投げかけたい。毎晩、君のお休みなさいの一言に癒されます。　宮澤賢治はサイダーと天ぷらそばが好物だった。知っていたかい。安易な自己犠牲は良くない。しかしやむにやまれず、あるかもしれない。南無妙法蓮華經。時代と化学の足音がもっと早かったら。でも彼は悲惨な戦争を体験せずに死ねた。良かったのかも。現在、日本にいて飢えることはまずない。素直に感謝して、明日に至ろう。欲望を思いに変えて美しく生きていこう。そういう時代だ。雨が降る前に歩きだせ。ホントにお休みなさい。　ソチがお袋の部屋から閉め出され、今、私の枕の上で丸くなって寝ています。私はそれこそ、まくらする、ところが無い。イエスキリストです。ではお休みなさい。賢治は「世界全体が幸福にならねば個人の幸福はない」と言った。安らぎのため、愛というサーベルで立ち向かわねば。サタン覚悟せよ。お休みなさい。君がサタンではないよ。熱いメッセージは好まないかい。道端に寝転ぶ人も世間と戦っているのだね。そこに優しいキリストの眼差しがある。真実の愛が。　君はホームレスの人を弱いと見るかな、強いと見るかな。私はあえて選択を為した英雄としたい。我が身にも詰まされる。傷心の彼らに幸いがあるようお願い続ける。ゆっくり体、休めて下さい。お休みなさい。　イエスの愛という価値観は簡単には受け入れられない。皆、収入、財産、地位、姿形に固執し求める。神の幸いを告げた彼には結果的に居場所はなかったのだ。神の幸いとは、義に飢える者には癒しを与え、貧しくとも正しく生きる者は満たされる。また虐げる者には裁きが下りる。優しさの意味を知ることである。人々は愛より悪魔の誘惑、欲望を好んだ。お休みなさい。　聖書を開くと君には最後、希望を示さねばいけないと。君が愛を抱くなら神の国へ永遠の命をもって入る。私が保証する。ただ信じ祈りなさい。幸せになるには、まず素直でなければならない。私が神か否か問うのは不毛だ。神とは私のようなものなのだ。いつもそう応えている。私が神だからだ。そういうほかはない。幸せになろう。まずは疑念を持ちながらも。腰痛がある。サタン覚悟と対決色を強めたからだと聖書が示す。負けるなど指示を出す。そのうち善き方へ向かうと促す。私の体を案じてのことである。今日一日を振り返り、ご仏前いろんな人の顔が頭をよぎりました。特に好ましくない人。皆を赦し、世界全体の平和を祈念しました。不思議にも腰痛は消えたのです。　ホームレスの人たち、競争社会では落ちこぼれの弱者。管理社会では自立した強者。個とすれば雨の中の小雀、また狼みたいに孤高を謳う人、全て一概に言えないな。お休みなさい。(間があいてお休みなさいが返ってきた)。少し、今、暖かいね、心。聖霊がそれで好いてさ。聖書も。君は報われたと。もう、黙り、閉じこもる必要はない。世間の意地悪さんは思ったより少ない。雨、降っているけど、悲しい涙は降らせちゃいけない。心よりお休みなさい。　ある意味、もっと柔らかく、しなやかに物事をとらえるといいよ。心のアンテナを立てないと幸せな世界は映らない。自然に素直に恥ずかしくない。今、俺にとって大切なのはどこかの駅のホームレスじゃない。受話器越しの君だ。けしてエゴではない。人の想いを知ること、一番大切だと信じて下さい。土足で踏み込んだと思うかい。でも

君はありきたりな挨拶文では何のためとその訳を見ないだろう。聡明な君に見えるものを、僕も視た。だから一言、もう一度返して下さい。君の心の美しさを信じ、メールをいつも送っています。君は神の言葉を感じて下さい。私の安堵の為、懇願します。憐れなら、お休み。一言お願い申し上げます。(お休みなさい) ありがとう。ヘルパーさんのお陰で部屋もきれいになりました。いつも素直であることは大事です。声は遠慮なくあげる。そして卑下することなく信じた愛を見つけよ。視野を広げ、とらわれず、恐れず、自分を信じて。素晴らしき愛は必ず見つかる。君なら怖気づかず、美しい愛を完遂できるだろう。明日は明日の風が吹く。あつき抱擁、甘い口づけ。誘惑の薔薇によってもたらされるかもしれない。でも魅力的な自分を自覚するとき冷静さを忘れてはいけない。対象をよく視よ。観察力、洞察力に優れた聡明な君には釈迦に説法かもしれない。だが経験不足は否めないだろう。警戒心だけが強くなる。それは良くないからね。君は大丈夫だ。いろいろ矢継ぎ早に送ってごめん。それでは上品で清楚で少しミステリアスな魅力的な君を想い、明るくお休みなさい(笑) 少し饒舌になっている。例えば利用者に関わってくださる指導員さん、彼らも人間だ。立場を超え、愛を表し、また自らの心を磨くのも大事、そうしたら君は真に善き人だ。それを納得したらお休みなさい。人に思いやりを向けるのは基本である。失敗もあげつらわずにユーモアを共有する。大事だ。どんなくだらないことでも、場が明るくなればね。貢献できたらいいね。君は君だ。無理せずにね。なんだ、説教か。うっとうしい。そうだね。ごめんね。君の笑顔大好きです。お休みね。僕はいつも君の美しい心、愛だけを頼り信じ、メールを贈っています。それを踏まえ、尾崎は歌う。「僕はいつもここにいるから。涙あふれてでも」、(永遠の胸)。ロスタイム。君はもう実践しているかもしれない。利用者の方も謝意をはじめ、想いをもって、指導される方々に敬意を向けねばと思う。私を憐れみ、お休みの一言を。(お休みなさいは返ってこなかった。) 昨晚のメール。愛についての話が、説教気味にズレてしまって。実は仕事場で反抗的な利用者がいて、指導員に同情した経緯があったのです。悪いのは人ではなく生老病死の苦しみに付随した悪魔による体制の業である。生きよとぼったて競争を仕組むもの、締め付け、管理、服従を迫るものなど。そしてそれを美化したのが競技、スポーツです。さらに隠された問題は顕在化するだろう。だが誰も本質を見ない。一番になりたい、栄誉が欲しいという我欲を否定しないうちはどんな世界にも平安はない。無言で微笑みうなずく真由子さんに愛の確約を得たような気がします。「嬉しいです。私は現状に満足しています。後は真由子さんの望む方向へ。そんな私は無責任な気もします。次の真由子さんのアクションを待っています」。多分、天、以外は私を祝福する者はいないでしょう。聖書さえ道ならぬ恋だと示す。でもリテラシー(読解力)に長けた、君に、語りかけます。我々は親友です。そして真実の愛を求める同志です。その君の沈黙に喝采を送るとき悪魔も善に思えてくる。逆縁である。私は君に語る、一般の代表として聞いてほしい。妬み、そねみは自己執着であり必ず不幸をもたらす。祝福し喜んで共感すると喜びがついてくる。共有だね。幸せへ、誰かが見ているから。尾崎の闇の告白、アルバム放熱の証、ラストの曲、ママセイグッバイのひとつ前の曲。現世、人間の業と自殺をほのめかしている。客のいないスナック、ママの前、マイクを握り、歌うと絶賛された。僕に同志と呼べるのは君しかいません。繰り返す、不条理はない、因縁があるだけ。善悪はある。素直に温かく愛を選択せよ。幸せは必ず訪れる。ただ正直に生きていこう。 今日一日幸せでしたか。仕事せず酒飲んで家でゴロゴロする

のは最高です。軽蔑しますか。世の趣味とは勝ち負けを決め、優劣を競う、自己顕示が目的の下品なものばかりです。君の声が聞きたい。温かい言葉を送ってくれないかい。今すぐ、待っているから。(なにも返ってこない)寡黙な人だ。少し早いけど、お休みなさい。(お休みなさいが返ってきた)。我々は孤高の独立を選択した同志である。世間の冷たい風から逃れ、内なる悪魔のささやきと格闘し、その果てにつかむものは愛であると信じている。永遠の安らぎにもたれかけて。 毎日いろいろあるけど君ができるだけ悪意に遭わないことを祈っている。そして何度も言っているように、素直に。君は冷酷な人間には造られていない。 大相撲、ハングリー精神、糞食らえ。それは貧しいことの象徴である。日本人は経済的に豊かになって使いものにならないからモンゴルの貧乏な小僧を連れてこい。そして体罰、強制的暴飲暴食。客は高額を支払い土俵間近の席に陣取り、砂被りという眼前にて、興奮という快楽の満喫を笑顔で期待する。殺し合い、星のつぶし合いを繰り広げる、力士たち。客は弁当を食らい、大酒を呑みながら、拍手の嵐をおくり高揚する。そして鼻唄が転び、落胆すると思いきや、一転して怒りをあらわに、罵声を浴びせかける。誰もこの構図、悪魔の世界であるとは疑問としてすら持たない。 夢、そして絶望を売る、プロ野球。足の引っ張り合いは競争の悪の典型である。金、名誉を闘争心でぼっかけまわし、視聴している人間にとっては、選手、監督、コーチなどの悲哀は他人事。皆、人生ゲーム。ファンは弱肉強食の球遊びを見物するのがたまらなく好きなのだ。悪魔の世界。選手から勇気をもらう。確かに人生、皆、戦っている。でも皆、心は平和を求めてないかい。競技、(餓鬼、修羅、地獄)の世界。悲しくも世間である。愛を訴え、平安に導こうとするイエスには安堵するところが無い。企業の目的は、利潤の獲得、その実相は殺し合いである。仕事が楽しいなんて口が裂けても、私は言いたくない。たくさん送ったね。切のいい所だと思ったが、想いが走り出して。 ではこれからも君に愛が光輝くように願いを込め。お休みなさい。(笑) 清く正しく美しくと言う、老年の女性がいた。これは傷つく人が大半である。明るく素直に温かく、犠牲になった人もケアされる。私はただ真由子さんと愛を育むのだ。 君よ、毎日楽しいかい。仕事、きつくないかい。成長した君を見たいけど金曜日がいいのかな。水曜は家にヘルパーさんが入るので。どの曜日がいいか教えて下さい。奥ゆかしく深い、君に会いたい。冗談にしろ、過激な発言は控えるから心配しないで。野菊のような姿をもう一度確認したい。好日下さい。 心を開かないと。自分の、すなわちオリジナルな幸せは掴めません。心を開くのだ。君が愛を見つけた時、戸惑わないように。 君が懐かしく、逢える日が楽しみです。わたしの素の姿は君だけに文面によってみせている。真由子さんの前では別枠の中、少しいい男ぶっている。見栄かな。お休みなさい。 君は常識を考えたことがあるか。つまり世間。ゆるくなったりきつくなったり、困るのは自分の作った規則を常識と振りかざすやつ。真の誠実だけを常識と呼ぶのである。つまり愛である。 インフルエンザ、うがい、手洗い気をつけてね。お休みなさい。 私に出来るのは言葉を紡ぎ、祈ることだけだ。だがどうしても世界全体の幸せを祈れない。そこには裁きが入る。皆がイエスを信じ罪が許されるのを願う。サタンとの闘いでいちばん顕著な嫌がらせは親しき者の裏切りである。いつものパターンである。やつの狡猾な割には頭の悪い証拠である。胸が痛い、強くなれる。今日は「ありがとう」って送るから、良かったら「ありがとう」と返信して下さい。(ありがとう)。 十字架、イエスはマリアに叫ぶ。あの男性があなたの子だ。最後まで去らない、母のエゴにイエスは怒ったのか。

いや真実の愛を見たのだ。だから弟子に託したのである。君を想うとつられて僕も寡黙になる。元気でね。ソチが膀胱炎を発症し犬猫病院で時間外に見てもらいました。注射を打ち、先生の話聞き心配したけど、安堵しています。検査をします。懸念も少しあります。でも元気で活発なので大丈夫かなと思います。お休みなさい。無言が少しあって、お休みなさいか。ありきたりな社交辞令は誠実から嫌うのだね。でもね、真実の愛情を抱くとき涙と共にひとは大人になるのだよ。言葉もきつと溢れだす。太陽の熱も雨も涼しさも過ぎれば不快も感じる禍ともなる。ついでに酒もそうである。なぜだろうな。口から入るものすべてか。愛はどうか。誤ればエゴに。寛容な心が大切だ。仏教では中道といいます。極端に走らない。君は心得ているものね。雨、強いね。あたたかいから雪にはならないね。では、お休みなさい(笑) 昨日のメール気に障ったかい。愛情を持って主体的に生きるとき借りてきた理屈、自意識などはぶっ飛ぶものだ。まず誰かの為に心底、涙を流す。不快でなかったら、ありがとうって返信ください。待っているよ。人間には学歴、知識より、優れた愛に基づく人間力を持った人がいる。それが本物だ。君は素直だから理解できるね。まずは情緒に委ね、心に自由を描く。三連休あるけど君は土曜日が公休でしょ。珈琲、飲みに行きませんか。最近味覚がさえています。本当に珈琲のコクが解かるようになって、前は水しか受け付けなかったのだけど。(行きません)有意義に過ごしたかった。君のその足腰の重さが幸せに繋がるよう祈っている。ただ神に従順でいてほしかった。不義を犯すつもりなど全くない。俺はいいが誠意ある男性を見逃すなよ。結婚の条件は二つだけ、正しい信仰をもっている事と楽しいかということだけです。神を信じ疑念を晴らし愛し続ける。隣人を愛し親切を忘れない。ありがとう。お休みなさい。(笑) 尾崎豊の墓碑にある、ラストアルバム放熱の証から「生きていくことは日々を告白していくことなのだ。」彼の楽曲のように私の書きものにも愛の力が存在する。昨晩は最後要求した「ありがとう」が、なかった。君の重さになぜか謝罪する。私が浮かべる真由子さんの面影のせいかな。単に若いイケメンの男性でないからだろうか。そんなところか。女性は難しい。本当に固い娘なのかもね。厳しい家庭みたいだからなあ。恨み事つらつら書いてみました。ソチが、寝ない。苦しいのかもしれない。母がヒステリックに罵声を浴びせかける。自己本位で自分勝手な性格は個人事業主だから許されたもの。余りにも感情的すぎる。旧友で経営がきびしいサービス提供者。俺はまた裏切られた。電話口、自分の規則を常識と振りかざし見当違いに私を責める。敵意に近い、低俗な悪意である。今、彼のすべきことはひとつ、裏で扇動する冷酷な妻との別れしかない。旧友として本当に情けない思いをしている。このままでは破滅へ向かうだろう。ソチは元気です。しかしどこか落ち着きがありません。心配です。エサを食べ、おしっこも出て大丈夫だとお袋は言います。またさかりだとも。いろいろ手間をかけさせるソチ。私は不妊手術への復讐ではないかとも思うのです。自分にけして執着してはいけません。病の温床だ。まず人様を思いなさい。でも卑下は絶対いけない。ふんぞり返って生きていきなさい。ではお休みなさい。世間の風当たりは強く冷たいからね。虚勢でもいいから死を乗り越えねば。己の正義と愛を打ちたてるのだ。幸せを自らの手で掴め、君なら必ずできる。ふんぞり返り、世間の見栄、偏見に負けず、堂々とした姿のもと、高圧的な者や、嫉妬、悪感情を持つ者にも負けずに、毅然とした道を拓くのです。神(愛)には謙虚に。お酒をたしなむひとはあまり好きではないようですね。「酒は心の垣根を取り払う」。山岡荘八の「徳川家康」の中、秀吉が家康に向

けたものです。その夜、彼らは女性の好みに談がすすみます。翌日家康は秀吉の陣羽織を身につけ臣下の礼をとり大名たちの先頭で秀吉に平伏します。秀吉の天下統一はほぼ達成されたのです。酒は、案外、良いものだよ。お休みなさい。恋は盲目、対象のすべてが自分への反応に思われてくる。忍耐強く自然に働きかけ想いが通うのを待つ。シグナルは疑念で流してもよい。本物なら必ず落ち着く。つまり祈ること。命短し恋せよ乙女。幸せを呼び込むのだ。きっとそこに愛という答え、自由への扉が待っているから。お休みなさい。いつもありがとう。明日は日曜出勤だね。楽しく行きたいねって言ったら馬鹿って言うかい。ではね。お休みなさい。(間があったので)どうした元気ないぜと送ろうとしたら返信が来た。(お休みなさい) イエスは体制から見れば悪人であった。人心が離れることを危惧し妬んだ頑迷なる者達は彼を十字架につけた。そして自らも救えないメシア(救世主)がいるかと嘲笑を浴びせた。イエスはアダムとイヴが神を裏切ってから続く罪の購いのため神からの杯として死んだ。無為に殺されたわけではない。復活し福音を全世界に。イエスキリスト信仰の誕生である。君ならそのくらい知っているよね。お疲れ様。辛いときはまず祈る。じゃあお休みなさい。科学が発展するほど人類は破滅をも含んだ新たな展開を見せるだろう。ゲノムしかり核兵器しかり神の領域を侵すものである。ガリレオ審判で神話は誤解される運命になる。前にも話したかもしれないが、欲望と想いは完全に違っている。情愛と慈愛との判別がある。私はこの先、すべてに美しく強く優しい想いを持っていたい。暖冬だね。土日、雪降るみたいだけどタイヤ、はめ替えたかな。雪道、気を付けてね。お休みなさい。いつも間があってお休みなさいが返ってきます。君は温かいセンテンスを贈りたいのだね。スムーズに同意、同調するところから入れればいいよ。待っているよ、いつも。サタンは誘惑し、乗った時点で呪縛をもたらす。そこに安閑としているとけつをどやし疑惑で苦しめる。つまり逆ばかり仕向ける。傷つかない胸、大事に。大丈夫。その場、その時、瞬間に生きる。それが大事。魔も入りづらい。善は常に意識していなさい。心をサタンによって陥落されないよう。神からの忠告です。私は健気な真由子さんしか愛せません。あなたのその誠実さを踏まえて、あなたが親友であることを誇りに思います。ありがとう。お休みなさいだけではさみしいから飾りもつけずに贈る言葉です。美しい心、思いやりは生きている。どこに、俺たち二人に。温かくお休みなさい。ありがとう。心に忍びこむサタンとは妬み、焦り、怒り、見栄、好色、貪欲、怠惰などです。顔に表れますよ。心を美しく南無妙法蓮華経。幸せへ。今日カレーハウスに行ったら君はもう帰路についたとのこと。また来るね。前もって連絡入れてないといけないね。元気でね。お休みなさい。不思議に善きものは爽やかさ、もしくは芳しい香りを醸し出す。君もそんな感じだ。良き抱擁が訪れるのを祈ります。君は輝く大人の女性になるのだ。いろいろ考えるが、やはり幸せは楽しいパートナーとつくる暖かい空間にある。俺はこの年齢でも夢見ている。馬鹿と言うなら言うがいいってね。では、お休みなさい。ネットで尾崎豊を検索して下さい。私のコメントが主なる曲の評価順、に記されました。正直、嬉しいです。尾崎への親近感が強くなる。ご覧ください。お休みなさいね。出来れば君の意見を聞きたいのだけど視ていないよね。(無言)自由、平和、愛お休みなさい。(お休みなさい)君は見たでしょう。ユーチューブ尾崎豊。なかなか的を射たコメントでしょう。褒めてくれたら社交辞令でも大喜びするのに。なんでこんなにはしゃぐのか。それだけ尾崎が好きだってことだよ。思いやり持って共感してほしいなあ。潔癖は人を傷つけ、寡黙な自己防衛は誤解を生

み偏見を呼ぶ。避けるうえでも自己アピールは大事。まず素直な気持ちが肝心。表そう、優しい言葉で。お休みなさいね。遠慮は神には似合わない。君にも必要でない。正論を吐きぶつかりあう、そして真実からの愛に到達すればいいね。愛からタフさが生まれるよ。お休みなさい。少しハードルが高く難しいかい。「君はまだ若く、その頬の涙、乾かせる誰かがこの街のどこかで君のことを待っている」。若くて男前の優しい奴。だから孤独は卒業しよう。「お休み」でも、「ありがとう」でも、「バカ」でも返信ないと眠れない。懇願します。(お休みなさい) ソチが膀胱炎になり薬を針のない注射器で口の中にいれます。他愛ない話でいいから声が聞けたら嬉しい。全身全霊で受けるから。(無言)まあいいか。気が向くとき、感動したことがあったらお知らせください。じゃあ、お休みなさいね。太陽は大地を照らしてまわる。科学的裏付けはいらぬ。自己中心。いや神中心。神は愛。信仰という主体性を持ち神と人は結びつくのである。愛を信じること大切。一切は空、般若心経で有名だね。空とは愛なのだ。私がサタンに攻撃的な対決色を強めたので奴は私の脚に激痛をもたらした。そして羞恥心にも働きかけ嘲りを浴びせかける。俺は負けない。俺は誓う。このエンドレスの戦いに終止符を打つことを。お休みなさい、良かったらエールを。怖いかい。聖なる戦いから逃げてはいけぬ。生老病死から永遠に別れるため祈ってほしい。君にはその勇気がある。勝つのだ。(間)お休みなさいが返ってきた。私はありがとう、十分だと送っていた。私に得意なものは無い。だからこそ神なのである。神は愛である。人の心を掴むのが神だと言う。でも本当は人が神の意を汲まねばならぬ。君も確かな愛を手に入れてほしい。すべては笑顔から始まる。太陽はちょうどいいくらいで輝けばいい。君が孤独に泣いていなければいい。じゃあ、お休みなさい。今日、ヨシケイのお姉さんと、玄関口、道を挟んで目が合い、かなり好感度の高い見つめ合いを刹那に交わし、彼女のひたむきな真面目さを感じた。サタンの誘惑でない美しい笑みであった。彼女からのエールである。私はひたすら真由ちゃんを愛し抜く。たとえ、さらし者の馬鹿者にされても、それがイエスキリストだからである。随分勝手だが、君は嫉妬を持たないね、キリストの花嫁ならば。修道女は洗礼を受けるとキリストの花嫁と呼ばれる。今、私は信仰を持ち、神、隣人を愛する女性すべてを指すと思う。不義に至らぬ美しい恋がある。アガペーの意味を知ることが大事。お休みなさい。「嫉妬しないね」と邪推したこと誤ります。君が愛に寛容でなかったら僕のメールは存在しないものね。悪かった。そこに気づいた。これからまた心を許し君に接することができる。そこからだ。君も気を許し話してくれると嬉しいなあ。ずっと待っています。お休みなさい。(彼女にお休みなさいを何度も促すが送られてこない)君が友達以上の好意をもしても抱いていたなら素直にありがとう。もし逆なら恋愛妄想の甲斐性無しと、吐き捨てて下さい。君は僕の愛のエリアで本当に大切な位置にある。だから僕を理解し力強く生きて下さい。気に障ったら教えてね。無理せず。返信ください。お休みなさい。(では、恋愛妄想の甲斐性無しと)応えてきた。君の残酷さは私が侮辱を与えたということだね。ごめん。私は君と違い、いい加減だ。そして善良で思いやりを信じる。君の孤高は錯覚で心の分裂をもたらす。ロスタイム。ヨシケイさんは蛇足だった。真由ちゃんのために嘲笑を浴びても平気。ありがとう。カツを入れてくれて、強くなる。弱さを抱きしめて。お休み。おはよう、昨晚は僕の醜悪さを教えてくれてありがとう。君の声が聞けて嬉しかった。拒絶ではないコミュニケーションにします。これからは優しさが美しく素直に返ってくるよう僕も努力です。聖書は君の暖かい心を知っている。送信を促す。

真由子さんとの愛を確実にした今、アガペー(博愛)の行き先、君はどう僕の心理にアプローチするだろう。少し気になった。恋人と呼びたい存在と親友の境界線の上を歩く、未熟だがそれしかないような気がする。自信はないが許される未来像があればいい。君の査定におびえる俺です。「疲れにむくんだお前抱きしめる。自分のためいきに、お前の笑顔捜している。路上のルール」尾崎豊。お休みなさい。明日出勤だね。辛いことはないかい。もう酒はやめようと思うのだ。何かじっくりこない。酔いしれ方気に入らない。報告でした。雪道は気をつけてね。毒舌が許されるのは30まで。ぎりぎり。思いやりある毒舌より素直に優しさを表した方がいい。互いのため。では君の無事を祈り、お休みなさい。「探している答えなど何一つ見つからないかもしれない。心の弱さに負けないように立ち向かうんだ。誕生」尾崎豊。答えは愛しかない。結構、俺たち、幸せだ。君との間、醜悪に見える関係ではなく互いに、そんな過酷な生活は送ってないね。ということです。愛があるからです。己の心にね。弓恵さん、俺が言うのも変だけど美しい恋を願います。君にふさわしい優しくて思いやりある男性。石ころに見えるがダイヤモンドかも。では寒い夜、お休み。何か先程から俺のことを言っているように錯覚する文面だな。ただ私は君の真実の幸せを願っています。それは信頼するパートナーと楽しく生きることに付きまです。病院運営、真由子さんにどんな上意と決断があっても僕は支持し愛し続ける。僕にとってマイナスの事案でも。優しさとのほざまで苦しむ彼女を救いたい。今日は忙しかったかい。実は友人が僕を食事に誘ってくれた。厚意を無下にはできない。すべては友情で回る。メールありがとう。貴重です。また声、下さい。ぜひ。いつものように懇願し、確実な返信を望みます。弓恵さん。世には思いやりから深く考察してはいけないこともある。繊細さが皮肉を生み、浅い了見を傷つける。正義のため生きねばならぬ。でもいつも愛を優先させねば。いつものお休みなさいの返信は善意に受け取っているのですか。それなら、ありがとうでなくても、もう一言欲しい、やはりありがとうか。でも嬉しいよ。(無言)恐れ入りました。お休みなさい。君のような律義で誠実な人はいません。相手の想いが理解できるのでしょうか。世には意見を発するだけで偉くなりたいためとシニカルに断罪するものたちがいる。最低だ。比較。知識があっても教養はなく裏付ける知性も愛もないやつらだ。批判は避けられないが、私は気にせずどんどん恥をかいてもアピールしよう。それでいい。君はお休みなさい以上の会話をしたくないのだね。少しからむよ。人を張り手で叩くように傷つける。君の感情の居場所が解からない。メールが寝る前のひまつぶしなら俺も気楽です。ごめん、君は今までの確な返信をしている。叱咤激励の意味もある。様々な「お休みなさい」。本当にありがとう。僕は直球しか投げられない。受けてね。結果的に僕の存在は君のためになっていますか。愚痴だけで教訓にはならない。君の鋭い洞察力に救われている。僕の真摯な愛が確かに理解されているから。つまり私を神、イエスキリストであると信じている。君にサイトを見てもらって本当に善かった。元気でね。お休みなさい。奥の深い、君に安心する。人と人を結び付ける。世間ではおチャラケ言動ほど親近感がわくみたいだ。でも僕は君のつぶやきに重きを置く。真人とはそんなものであろう。親友の君を誇りに思う。じゃあ、温かくして休んでくださいね。お休みなさい。自由は周りの自由を認めるのが基本ですね、そんな中あえて苦を選択する人がいる。達成感が目的だと語る。釈尊は苦行というものは自己満足で、無意味だと言われた。「仕事です」と自分を追い込む人間はいらぬ緊張感を周りにもたらず。我々の職種は命の危険にはあまり関係な

い。リラックスが一番である。誰も死にはしない。柔軟な思考が大切である。それにはいつもなるべく地で、つまり素でいる方がよいです。仕事に集中でき人間関係には無頓着になり苦しまなくなります。それが自律、自由。とにかく負けず嫌いは多い。そこに気づけばいろんな知恵も湧いてくる。幸せだから幸せでいようね。それが肝心。ではお休みなさい。自らを苦しめ込む人は誤った憶測が顕著で悪意を持ち、善意をすべからず受け取れない。上にも逆らい、きつい仕事をこれみよがしに実行する。やはり愛の率先垂範は大事かも、けど無理はしないで、私は後方から支援する。愛の奉仕の理解と恩賞は、神からおいてくるよ。携帯の目覚まし設定を通常化しました。弓恵さんのメールにいつになく音と光で反応するので嬉しく、もう一度、就寝時の言葉頂けますか。お願いいたします。(無言)ロスタイム、安楽行。愛と優しさと思いやり。それがいつも自然にできること。そんな人をまた憧憬しましょう。神とはそれをいつも想っているもの。アヒルは生まれてはじめて見たものに付いていくという。つまり愛着だ。家族、郷土、そして体験。しかし大人とはなにが妥当なのか、他との選択に向かわねばならない。夢を失わず、愛を弄ばず、自由に明日を思い描いて下さいね。君はまだ若い。頬に涙を乾かせる奴は必ずいる。強く信じて、お休みなさい。ごめん強い君なら泣く前に分析し切り捨てるかも。それでいい、愛を選択してくれれば。私は平易な表現をしているつもりだが、「何だかわからない」と社会体験の少ない若造が言う。自己分析もできないみたいだ。理解する君に感謝。君の恋のモチーフは僕ではない。安心して。神として愛を説く、どうしても恋愛と誤解されるような表現になるときがある。アガペーはラブを昇華させたものと単純に理解するのである。弓恵さん、いずれにしろ神を信じ安心してね。でも固定観念だけは破壊して自らの思想をつくろう。年齢30離れた男と、心の交歓に付いてきてくれた君。ありがとうね。ただ嬉しい。こんな親友がいてもいいだろう。この殺伐とした世の中、最後に言う。神を愛し隣人を愛し、神の御使いになろう。就寝のあいさつをもう一度願います。懇願。正直、君の気持ちが変わり、私に恋慕の情を抱いた。本当なら嬉しい。しかし戦いの真只中だ。不老不死、永遠の命。婚姻は消え、皆、自由になる。心を確かめたかったのさ。今の段階では弱気だが人と神とのダブルスタンダードの将来を描くしかない。優しい彼氏と家庭を持つのも善。いきさつから不本意な婚姻に達した男女もいる。その陰で泣いた人もいる。振り返ってみる。きみに固定観念が、ないからこそ僕とメールしている。そして恋慕に抵抗があるのなら、思慕の念では。いささか過重ですか。君に対する私は自身の特別な感情を意識し始めた。だからどうだという話ではない。私は君を大切に思っている。神として必ず幸せにしてあげたい。君の思い通りに。君の描く世界はきっと美しくまじめな景観が広がると思うから。困惑させてごめんね。君が幸せならそれでいいのだ。赦すと、サインくれないかな。なんでもいいから。忙しいのに悪いけど。本当に、俺と君は友達以上恋人未満でいい。来る世、神の御使いとなり自由を享受する。その時は束縛ではない美しい関係を持てる男性がきっと現れる。混乱して迷惑かけたね。君は無言にも力があるね。俺はただ君の幸せを望んでいる。神として。欲望は皆無だ。ただ面影を追う胸の中、恋と錯覚するのだ。また尾崎の「卒業」聴いていただきたい。彼はガラスを破る子たちにさえ理論美装を与える。限りなく優しい。ではお休みなさい。「俺が這いつくばるのを待っているすべての勝敗のため。愛だけを頼りに雑踏の中君を探している。君が悲しみにくれないよう。優しく肩を抱き寄せよう」。(尾崎豊) 神が君を愛している。君の明晰で透徹された理解力、そのた

ずまい、何故か心を揺さぶる。やたらに動かないその唇、私は真由子さんを忘れたわけじゃない。今も、熱烈に愛している。でも今、俺にとって21時、(お休みなさい)を必ず返してくれる君は本当に真摯で誠実なたったひとりだ。ありがとう友よ、私が晴れて真由子さんと共に道を歩んでいくとき、君も傍らで素敵な男子と手を握り合い、静かでいいから、微笑んでいてほしい。それが俺の素直な気持ちです。人を想うとはいいことである。休日、手持ちぶさたになる人はそれだけで救われる。愛する喜びを知らない欲望だけの人もいる。大概がケチであり、幸せとは縁遠い。私は最近、かすかな欲望がある博愛と、真由子さんへの純愛、平行しているはずだった二つが交差し錯綜していたのに気付いた。この愛が落ち着けばすべての不安定さは確実に解決するに違いない。私は念じ続ける。君とも清廉な大人同士、色恋なしで付き合える。それでいい。美しい思いやりという信仰。互いに尊敬しながら。君の中に師を見出すことがある。精神と肉体。一致。強い自律が必要だ。強い弓恵さん。いや、弱くても信仰がある方が正解だ。祈りで互いを生き、寛容になる。お休みなさい。(お休みなさいがすぐ返ってきた)君の反応に僕は創作意欲をかきたてられ、神の言葉を紡ぎ出す。君という沈黙がなかったら僕は暗礁に乗り上げていたかもしれない。本当にありがとう。君は無言だね。(間)そして君は誰より優しく、饒舌だ。君の家庭には安堵感と安心感はあるかい。不安からは意欲は生まれない。何であろうが支配からは放れなければ。違ったらごめん。幸せは心の自由から生まれる。皆、金儲けに疾走する。生きるためか。愛って金で買えるかな。金より価値のあるものって何。やはり目に見えない世界にあるものだな。お休みなさい。暗に金融機関に勤められる御父上を批判したかのようですが、そんなことはなく君の品の良さはどんな躰にあったのかと。けして非難ではないよ。一般的な話です。君の鋭い洞察力に、我が善意は救われたのを確信し眠りに就きます。お休みなさい。チャーチルは今上陛下(現、上皇さま)が皇太子として訪英した際、「無垢で若い、それだけで特典だ。老人のように過去の事件、後悔に悩まされない。」と。君の読書も様々な人間模様を知見するための旅だね。必ずや真実の愛を掴んで下さい。浮気、不倫というのが、愛のない男女がひとつ屋根の下で暮らす方が不自然だろう。情欲か純愛か、世間への説明責任などいらぬ。ただ真剣に愛し合うことだけ。恒例になったね、いつものお休みなさい。クリスマス、イエスの生誕。お祈り、ひとつだけ願ってください。美しい心でね。神、隣人を愛する。必ずかなうから(笑)。弓恵さんも暗く教訓めいた話より温かい、いたわりに満ちた言葉が欲しいよね。当たり障りのないものは君に不相当だと感じて。でも普通の女性ですものね。御自愛ください。寒くなってきたね。雪降るかな。運転気をつけて下さい。また会いに行きます。カレーハウスへ。日曜日になるかな。忙しいね。その時は許してね。温かくしてお休みなさい。弓恵さん、遅くなってごめん。朝刊を開いたあと、流れで「遥かなる泥土」を読んでいました。聖霊に叱咤されサタンに狙われ、必然として半生を送ってきた。大切なのは愛と勇気しかない。心から騒動を追い出すため神は試練と理解力を与える。心配なく優劣を競わず生きましょう。お休みなさい。(笑) 博愛と純愛の錯綜の中に生きてきた。情欲に無垢な純真さは勝利した。清らかな愛は現出する。その果てに神の王国、永遠の命が喜びをもって、訪れるのだ。若いとは振り返らないという特典を持ちながら罪を背負っていく過程でもある。君だけは人生に禍根を残さないよう祈っています。ソチの尿から雑菌が消えた。障子をまた破りボロボロにするだろう。弓恵さんには理解できないかも知れないが、ソチの命

が係るならトタンの色も錆びついた鉄骨建てのこの家も売ってもと思う。きっとそれは聖書の中、「田畑を捨て、私、つまり愛に委ねよ」。イエスの言葉の意味だね。愛があれば自然にそうなるよ。大切なことを誤らないこと。目に見えない世界が9割だ。絶対、酷薄、残忍ではいけない。不幸を確実に呼び込む。自然に愛を、思いやりを、それしかない。すべては自分のためにある。愛を優先せよ。死んで悔いなし。お休みなさい。個人と愛国心を使い分ける高慢なフランス人に支持され評価の高い、北野武。ベネチアで金獅子賞に輝いたHANABIがある。ナンパで知りあった、妻の高額医療費を支払うため、警察を辞め、やくざに近づき借金を重ねる。彼は金を得るため銀行の窓口で拳銃をちらつかせる。奪うと、用意していた偽装パトカーで逃走する。ラスト追いつめられた二人は沖縄の美しい浜、寄せては返す青い波、妻の最後の言葉「ごめんね、ありがとう」。銃声2発。彼は寡黙で凶暴だった。しかし優しい。妻以外は何もかも、どうだろうと関係なかった。道徳に縛られていた私はこの映画、はじめよく解からなかったのです。その後、頭に強烈なハンマーパンチを食らうこととなります。俺はこんなに一人のひとを愛したことがあったか。今、それは真由子さんであると信じたい。法律、世間、命さえ気にせず、何があっても愛し抜く。俺は今を生きる。真由子さんとの先行きは不透明だけど。良質な映画を観るのはいいことですよ。最後、お願い、ありがとう、お休みなさい、を下さい。懇願します。なぜか。(当然のごとくなにも返ってはいなかった。) どこか落ち着いた院内の雰囲気を感じ真由子さんに失恋したみたい。フロイトの様に自分の心理を分析してみる。寒い夜。シベリアに抑留された方々を想う。やはり俺は甘たれている。生とは重い。恋を嘲るやつもいるだろう。終わりはいつも虚しいもの、生活の重さにはやはり勝てない。すべては天の意思があり我らは魚のように川の流れて行くだけだ。主体性と、仕組まれた自由。歴史というストーリー、観客は天にいる。美しさを求める意志は聖に繋がる。そして愛は育まれた。転院の時宜を見計らう。愚かではないな。おやすみなさい。弓恵さん、結局、心あるもの{神の子}は神の御使いになるのだよ。どうかご自愛ください。あなたは選ばれた誠実な女性。神の祝福を留意して。「おやすみなさい」の次に来るセンテンスがあれば。何か思い付くかな。ごめん。ロスタイム、「またお願いします」これ、良くないですか。人間への好奇心、優しさが君にはいっぱい詰まっている。警戒心、厚意を装う、中身のない薄情さをぶつける人は多い。君の自己本位ではない優しい眼差し、これからも頼みます。聖書は自分だけのために生きるのを許さず、また利他に徹するのも否という。愛を意識せず、神に委ねるのも忘れ静かに笑みを浮かべよと示す。君の境地かな。弓恵さん、寒いね。お休みなさい。(返信が遅い)そっけなかったか。深い意味だね。心の底まで見えるのだね。そしたら僕の君への愛も見えるね。俺はすべてに悪心さえ持たなければ安堵できるのだね、ありがとう。ふんぞり返れと言ったが、人間関係にも負けない、強い気持ちを求めると実は不幸になることもある。くじけながらも相手を想うのが優しい心。それが美しい心です。お休みなさい。カブトムシに意見をしてやった。あまりにも安請け合いの男との付き合い方だ。自分の都合が好いように返答する。友人としての立場から。何かがつきれた。親近感は信仰であり、愛と似ている。貞操観念を持つ女性が当たり前。結婚まで操を守り抜くのが本当だ。悲しきかな、世は乱れている。己を大切に、自身に言い聞かせ神に愛される。弓恵さんお休みなさい。僕の素直な気持ちです。今、眼前にある対象は君だけ。素直に感謝する。僕を一瞬で理解したのも君だけ。さすがである。君に少しでもプラス

になることをここに残したい。年齢差を超えて。 女性は己に執着し言い逃れを認める男と戯れる。僕の信じる君は違っている。恐れず責任を持ち正直に生きる。リスクではなく、生活基盤が確かならと、少し二人での生活を勝手に考えてみた。君は真実、律儀だ。そして僕に社会的な危険性がないと判断している。ありがとう。サイトを二つ返事で見てくれた君は誰より優しい。感謝の心でいっぱいである。君は無防備ではなく寛容だ。美しい花を咲かせてほしい。君に認められたのなら自信を持つね。二人で託してみよう。永遠の命。イエスを信じて。結果はどうでもいいこと。まずイエスを信じるのがすべて。つまり愛を信じる。絶望の淵に立つ人にはよすがとなる。愛がすべてを超えていくのだ。信じる。すなわち祈る。必ず今よりもっと幸せになるからです。僕を忘れないで。もう一度懇願します。返信願います。お休みなさい。(お休みなさいは返ってこない)君はカブトムシと違い主体性を本当に重視するのだね。縁だけでは片づけられぬものがある。ありがとうという言葉、今は、それしかない。ただ君の優しい声が聞きたい。私は誰に関しても肉体関係を結びたい欲望はありません。ただ温かいものがあればいい。そして真由子さんがどんなに冷たくなろうとも追う。笑われても唾を吐きかけられても。そういう日常を、生きる。自分がフーテンの寅になったかのように。 人の命とはあっけないもの。長患いの人もいるが、最近出会った死に思う。悔やまぬように。好きな場所で好きな人と好きなことをして生きて下さいね。まず好きか。それを大切に。お休みなさい。 真由子さんに意地になっているだけの様相だが、恋は神代の昔からあり、死ななくては治らない。と言います。幻影を追っているのか。自然な心を大事にしないとね。弓恵さん、あけましておめでとうございます。本年があなたにとって本当に幸せな年になるよう祈ります。謹んで新年のお慶び申し上げます。返信、希望、す。(返信が来た)嬉しいです。味も、そっけも、ないけど。それでいい。笑顔と戸惑いは来る世、愛する人のために取っておいて。幸せな奴のためにね。君は深いから、まず正解を掲げます。 遅くなってごめん。私の作品見ていたら面白くて我ながら感心しました。寒い夜、温かくお休みね。また明日連絡します。お休みなさい。 サタケッチは私の本は皆一緒だと言ったが、俺の作品は面白い。けど色あせそうな自由という現実。それでも愛を求めてさまよい続ける。私の愛に真実の安らかさは訪れる。だが哀しくも生活の美しい愛が実現されるため、自由は制限される。当然であり人妻は人妻である。 媚びのない君の姿勢が好きだ。僕はいつからかヨイショがお似合いになった。皆がきつと悲しいのだと思うから。サービス精神と自分とのほざまで苦しげに笑う俺。脇から首を突っ込むやつがいる。愛の居所は。幼稚なブリザード(嵐)。お休みなさい。でも、もしかしたら俺が気付かないだけなのかも、皆、優しいのかな。 戦友をどこまでかばうことができるだろう。君には自然に生きてほしい。太宰の様な人間失格ではいけない。思いやりを持って素で。弓恵さん、俺は神だ。遠慮があってはならない。たとえ誰かを傷つけることになっても。私は絶対善だ。愛想は愛に導くための方便である。媚びとは違う。南無妙法蓮華経。もっともっと自らの意志で僕に関与してきて。君は僕には必要なのだ。希望します。声が聞けるならなんでもいい。見た目で解かる人もいるが、人はやはり言葉に出さないと解からない。正直に発しないと誤解、偏見の波をかぶる。期待にはストレートに応えればいい。素直に。すべては君の主体性にある。君の心に僕が踏み込み、意を拡張してはいけない。君は強い、まずそんなことにはならないが。今の段階で具象化した優しさを要求するのは酷かい。恐がらずぶつかってこい。僕も真由子さんにぶつかる。君

がもしも僕に好意があるとしたら彼女を敵に回すね。でも君は優しい。ごめんね。ありがとう。もう一度、お休みなさい。今、現在の気持ち。病院を転ずるつもりです。豹変を繰り返しましたが、本気みたいです。真由子さんから放れます。正月、新たな旅に出たくなりました。20年ぶりに役人の友人に会いました。何かの要求があるのではと警戒したみたいです。病弱で体調が悪いと嫁さんに電話口聞かされました。養命酒を買い、私の本三冊を手渡しました。私は役人の風刺を口にしましたが、彼は不快にしかとらえず、役人根性丸出しでした。他人のことなど知らぬとやり過ごす。私は言った。強がりではなく「貴様を羨ましいなどと思ったことは一度もない」、聖霊は嘆いていた。採算だけを重視する。私の車の中だった。家には客が待っていると言う。君に愚痴をこぼしている。ありがとう。もし裏切りというものがあるなら、正々堂々とね。信じている。親友よ。お休みなさい。明るく素直に温かくで真由子さんを愛してきた。ここにきて聖書は清く、正しく、美しく、を打ち出した。私の悪口三昧に、反省を促したか。神は自然に生きられないものか。真由子先生に「元気になって良かったね」と言いたかった。最近、彼女の幸福を毎晩本尊に祈っていた。美しい願いは必ずかなう。弓恵さんも夢、愛のため祈ってください。幸せが舞い降りてくる。祈りは効果てきめんです。神仏を信じて美しい心で。もしかしたら私と真由子さんのような離反の姿を呈しても。それは善なのである。愛別離苦を障碍なくなさしめる、最善の結果なのである。何にせよ泣き、抱きつかれぬ限りは義理を欠くようだが、静かに去っていきたい。弓恵さん、温かくしてお休みなさい。巷では人を恨み、血にまみれて穢れてしまう心が存在する。約束されたすべてのものが、南無妙法蓮華経と大音声するとき、私たちは不老不死となる。永遠の命である。君の幸せをずっと祈っているよ。神の愛で。穏やかでも波の底では様々な葛藤が行われていた。真由子さんへの愛。弓恵さんへの想い。まだまだいくつもの錯綜。単なる欲望の出現と違い、心あるものへの純愛である。或る男が突然死。善悪を聖書で判断。悪であるが私と係わり改心した。が罪により罰を受けた。とあらわれた。また野外にて低体温で亡くなった年配者、新聞で知った。辛かったかな。弓恵さん、とにかく少し損しても美しい心でいるのだ。どんなに防衛してもこの世だけのこと。愛を信じて神に祈ってください。樂園が待っている。お休みなさい。神は苦悶している。歴史を振り返りその責任に。また罪と罰を決めるため、裁く狭量な自分が嫌で。そして俺はエリートではないからこそ、屈辱への怒り悲しみをこらえて昇華できるのだね。たぶん君の周りは常識を振り回すパリサイ人でいっぱいだろう。私の愛が成就するには大きなハンデとなる。君の周りの雰囲気は固いかと。君の律義さ、本当にありがとう。聖書は弓恵さんと二人の生活は難しいと示す。来る世を忘れるなど。幸せになろう。皆が自由で暖かいものになる。時間外ごめんなさい。もう一回お休みなさい。要求、申請、声を上げなきゃ誰にも解からず助けてもらうことはできない。幼児、児童虐待などは番外だが、個人の自由が尊重されるのが、当然、民主主義だ。君はどうですか、声を出しているかい。少し心配です。察してくれる人ばかりではないから。でも君は大丈夫だね。僕も君と同じく一人カラオケ支持します。一度一緒に行きたいけど夢にしておきます。お休みなさい。もう一度という「お休みなさい」の請求は依存されているようで嫌だったかい。君の想いが聞けるなら何でもよかった。ただ繋がっているという感触を大切にしたかった。少しストーカーに近いかな。ごめんなさい。お休みなさい(笑) 僕のメールの内容がイマイチ、誠実な君にとって就寝のあいさつとはフラットに出来なかったのでしょうか。でもそれだけ君のお

休みなさいは互いにとって重かったということ。気付かなかった私が悪い。デリカシーを欠き、メール内容は作品であるという感覚でした。これからは君のお休みなさいが素早く届く明るいメールを贈ります。また評価、認可できたら下さい。今日は三度目です。お休みなさい。返ってきたら嬉しいなあ。完全に迎合し媚びています。「情けなさをふるい落とし、百万の敵に向かう俺、独り。明日も嵐が待っている。色恋なし。やるぞ、見ておれ、口には出さず、出世の本懐」。君と僕の間隔は親友だね。そしてなぜかもう一度お休みなさいが欲しくなるのだ。一日のけじめみたいに。君は正直だから心ない対処はできないか。挨拶でいいではないか。心の潤滑油をけちってはいけない。君の対応は正しかった。だが僕は優しい暖かい言葉を素直に求めている。思いやりを果たすべきでは。君はそんな義理はないと思っているかい。付き合わされるのは面倒だ。人妻の女医をふっ切らねばならぬときにあまりにも甘くないかと。女性の目が向けられている。またお願いします。愛がすべて。君は全てを消化してくれる、女性では稀有な人。極めて聡明だ。世には人を支配下に置きたいものたちが大勢いる。主体性を維持し進もう。幸せを逃さぬよう。俺を信じてくれ。俺は負けない。自由と平和を愛してきた。聖霊はサタンと戦う私にその都度、最善な援助を施した。私に恐怖、妬みの類はない。理性を勇気でもって。思い立ったらまた下さいね、お休みなさい。前にも書いたかも。神とはどんなもの、それは俺のようなもの、答えはそれ。悪口雑言叩こうが、それは正しく裁きになる。正義の規定。思いやり。私は自然に生き、聖書に帰依する。そこでイエスは安全の保証と共に任務を指示してくる。だが私は奴隷ではない、そこに自己同一の拘りがある。神、イエス、義人。俺たちの年齢の差って埋まるのかな。今はどうだろう、嫌いだった愛という表現。堀を愛で埋める。自信がふと。俺は、世間は怖くない。もしかしたら君が流している涙がづらいのだよ。美女と野獣という映画があったね。弓恵さんが私を愛したとき私は老いと醜さから離れ、清潔な愛に包まれた端正な顔立ちの25の青年にバックするかも。尾崎の面影をほうふつさせる美しい姿に。将来のことより、今、私に好意めいたもの、つまり愛がありますか。あったら「お休みなさい」送って下さい。あまり熟慮しないで。(返信がない)弓恵さん、気にするなよ。テレビでは爽やかなイケメンたちが将来の不安を頭の隅にやって歌い踊っている。私は道端で亡くなる人が自分のことより切なくなる。憐みがすべての人に備わっていたら世間はこんなに殺伐とはしてないだろう。戦争を美化したアニメを始めゲームの類。洗脳され闘いを望む若者がいる。これで今日最後、にします。「もったいつけるな」と言ったら、いささか対決的だね。君は「お休みなさい」を貴重で大切にしているのだね。「ありがとう。」良かったらこのフレーズ快眠のため送ってね。やはり美しく聡明な君に懇願します。声を聞かせ安眠に導いて下さい。では、この言葉OYASUMINASAI(返信はなかった)世間、真実はかき消されていく。無神論者による墮胎。同情心のない幼児、児童虐待。悪は日常を駆けまわっている。老人の肋骨を折った介護人、いつ悪が入ったか。俺も君も重く深い、だから相性がいい。物事をいい加減に見る者、必ず悲しみの渦中に突き落とされる。独り聖書に委ね、頭上の星をよみ波の上を行く。弓恵さん、先祖供養は幸せになるため欠かせない。目に見えない世界。無念な思いをされた方がおられたら、毎日、わずかでも心に向け真剣に祈ろう。よき伴侶が果報である。現世ではよき伴侶がすべてだが、来る世、ともに自由になり生きる。君は神の御使いとなる。それを信じたとき欲望が去っていくことを感じるだろう。大丈夫だね。元気で、出来る範囲でいいから温かく。お休みなさい。伴侶はた

ぶん私ではないからね。気にせずに。君は十分温かい。二度目のお休みなさい。君は本当に優しくて暖かい。ありがとう。深い君に乾杯。(笑)三度目の促し、お休みなさい。(結局、初めて、お休みなさいの返らない夜だった。意味の解からぬ私に厭気がさしたのだろう。カレーハウスへの訪問も聖書は禁止した。それでいい。メールのやり取りもなくなった。博愛とは見方によっては醜悪なものなのかもしれない。彼女とはこの本作成の為の因縁だった。)

優しい魔女

何を、とち、狂っていたのか、失礼にも「いつかひとつしたいね」ってハートマークみつつ。返事が無いので、再度、「ひとつしたいですね」って。ごめんね、なぜか欲情し聖書に背中をおされメールを送ってしまった。情けなくも真由子さんのことは念頭になかった。迂闊でデリカシーに欠けますね。変なりズムでした。本当にごめんなさい。後から思えば、最後の欲望、ダイレクトな顕在化でした。聖霊に仕組まれたもの。カブトムシにも送信したように私と真由子さんの愛は本物です。心で結ばれている。でもこれからも彼女は夫に抱かれるかもしれない。その限りにおいて、私の肉体は自由なのです。空の教えの一端です。しかし彼女に営みがないとしたら。私は覚悟する、呼応し、けて欲情はしない。私はあなたが大人の女性だと信じています。それにしても私はあなたに対しあまりにも不躰で非常識である。カレーハウスには顔が出せない。そんなに面の皮は厚くない。先のメールはアメリカのラブコメからの引用です。(無言)には、あなたの本来のまじめさが強く窺えます。軽口ごめんなさい。「バカ」でも「死ね」、でもいいから私の贖罪になるコメント待っています。深く、愛に限りなく近い友情を、確認したく 温かい関係それだけを求めています。どうかしています。単刀直入で人を傷つける、自分の浅い見が憎い。今まで、なにかとあなたを傷つけたと思う。ごめんなさい。その優しさ、強さ、キャパシティー(許容枠)の大きさに甘えてしまった。私の心に平板から甦った感情は実に醜い欲望でした。恋が幾つもあったは天に対して許されない。(あなたからありきたりな社交辞令の羅列が返ってきました)グッバイマイラブ、あの街かどで、あなたは右に、私は左に、そういうことかな。あえて悪意にとりました、そして投げやりに「君も元気で」とまで付け加え了解の返信をしましたね。あなたの言葉を、「気分一新、頑張って」と受け取るのはあまりにも虫がよすぎる気がして。傷つけたのでは、悩みは解決しない。答えなど無くていい。その時、その時を自然に生きる。そう思ってきた私も、真由子さんの愛を確信したからには彼女だけに清らかな愛を捧げる所存です。そして優しい魔女を見くびってはいけませんよね。ありがとう。元気で頑張ります。自分なりに。寒くなります。どうかお体ご自愛下さり、お元気でお過ごしくくださるよう心から祈っています。ケガ、火傷にもご注意くださいね。ただ祈ります。「神は愛である」。なぜかこのセンテンス、送信できません。きっとあなたに愛がないからでは、違っていました、私が愛から外れていたのです。うるさいほど弁解し、厚意に働きかけている。私を哀れと思われるなら、どうか心を閉じず寛大な胸を願います。私を愛ある隣人として繋がらせて下さい。神の国の現出を待ち望んでね。私の想い。カレーハウスが恋しいです。新しい仕事は格闘中。あなたとのかけあい漫才が懐かしい。なかなか仕事は旨く行かず、注意深かった、あなたの姿を思い出します。もし欲情すれば、最後まで考慮しなければと。安易に許されないと勝手に思っていました。ただ

勝手に。今のあなた、幾多の体験、経験によって育まれたもの。あなたは私を自立させた恩人です。何が言いたいか、私のすべての言動を寛容にてお許し、見逃して下さいということです。優しい笑顔で再会を。また来てもいいですか。いや来ます。人は辛いけど愛という一本の杖にすがり暖かい季節を待ちます。コートの際を立て、今は嵐の季節か。ただあなたの優しさだけが見える。予約の看板が掛かっていました。出てきた吉山君の相の良さにびっくりしました。あなたの姿勢、想いが伝わってまいります。いい加減な奴ですけどまたよろしく。今日新しい仕事場で怒りと嫌悪を感じました。月曜の朝の連絡確認の際に発言するつもりです。義人をなめてもらっては困るぜ。また成長する機会が与えられたと思う。応援よろしく。利己的な悪がはびこり、私は疲弊していきます。聖書は言う。いったん引けと。職場では割り切り、黒子に徹せよと。妬みを回避するため笑顔は封印せよと。お元気ですか、私はまた課題を突き付けられました。キリストになるための試練、いかなる困難も乗り越える覚悟です。善良なる人の永遠の命のために、神の国の誕生。フライング気味ですが。明日A型施設を辞することを宣言します。聖書はカレーハウスに戻れと促すのです。本当は誰にも関与されず独りで口に糊する仕事がしたいのですが。また現実的にカレーハウスに戻る事はあなたをはじめ、スタッフさんの中に少しばかり複雑な気持ちを生じさせるのではないかと。カレーハウスが楽しかったのは事実です。自由と規律が共存して、清濁併せのむ器のでかいあなたがいた。聖書は、雇用という生活体系への埋没はもうやめたらと神託にて提示してきます。もし選択肢として私が希望した場合は訓練である当所への通い、何卒ご許可下さるよう伏してお願い申し上げます。カレーハウスは私が生まれてこのかた、いずこにいるよりも楽しく暖かい場所でした。いろんな価値観があり、平和な空間だった。あなたがいた、聖女がいた。言論の自由も。自分の不覚から人に当たるような幼稚な人も存在しなかった。皆、温かい優しさを理解する人たちだった。なぜこんなメールを。あなたは解からないと思いますが、「伝えます。私と真由子さんは愛し合っています。全世界で最も清らかな関係です。私は愛と思いやりの中、彼女の幸せだけを祈っています。彼女が悪意に遭わぬよう。」と、私の心の基底にはそれがある。あえてあなたへの欲望を断つための自分勝手な傲慢な宣言であり、もしあなたが私にわずかでも好意を持たれていたとしたら、本当に鼻もちならなく残酷なものです。でも人生、苦楽すべてを抱きしめ、愛に変えてこられた、あなた、敬意を払います。聖なる私を忘れないでください。これからもね。もう、タイムリミット。ごめん、お休みなさい、ではね。(ハートマーク) A型就労施設の所長と膝談判で話し合いました。私の信条、心情を聞いてくれました。神の概念について理解してもらうためには言い足りなかったけど私を理解しようと、場を設けてくれた、彼の積極性に感謝し残留を決めました。「また熱きトークをかわそう」との親切心にも感激致しました。まだ年齢も若いのに秀でた人物です。ごめんなさい。カレーハウス復帰の件、本当のフライングでした。弓恵ちゃんに「指導の立場にある方々も人間である。謝意、敬意を示さねば」と。少し説教臭かったけどメールを送り、「君ならいつも大丈夫だね」と励まし促しました。彼女はちゃんと判っていますよね。貞操を重んじ堅い女性が一番。の、半面、いろんな恋をし、人間通になった人が最高。この振り子、いつも本当にタイミング悪く現れる。欲望の居所に関係があるのかも。ソチが膀胱炎になり病院へ行ってきました。検査の結果を診ないと詳細は判りませんが、彼女は至って元気です。猫用ボックスで移動するなど、

慣れないことを致してみても、幾度も、猫への献身をなされてきた、あなたの思いやりに感服しております。博愛というものは猫を含めて真実の、隣人たちに対し存在するもの。そして欲望ではなく想いで一人の女性を愛す。当然の様に真由子さんです。これを清らかな愛という。緑茶のせいで眠れない。あなたのメルアドが知りたい。冗談ですが由美さんを旅行に誘いました。あなたにはマジな背景がかすんで見えて行動の決断がつかめません。判ってください。わずかな金はあります。つまりあなたとの交際を考える。こんなデタラメでは、可能性はないだろう。変なメールばかりでごめんなさい。心の底からお詫びします。返信、ありがとう。傷つけたか、忘れ去られたかと思っていました。きっと愛が幾つもあってはいけないのが世間の常識。愛すべき健気な女性は沢山、存在します。結局、その場限りの戯言を繰り返していると言われても仕方ありません。だが皆、愛している。でも特別な真由子さんと可能性が残っている限りは、他の女性とは安易に肌を合わせません。そして、こんなチェリーボーイを救うのはあなたしかいない。自由に素直に生きるとき、あなたの笑顔が広がるのです。もし真由子さんとの愛が破綻し成就しなかった場合は、私の二度目の筆おろしをお願いしたい。私が大丈夫かどうかは解からないけど。(笑) 結局、真由子さんの愛を信じる、一方、神として、孤独で優しい、暖かな、柔らかい心を持つ女性達を、拒絶せず、涙を流し肉欲からではなく、アガペーで強くかき抱いてあげたい。ソチをこの胸に抱くように。私の使命なのでは。冷静さを取り戻した。五里霧中でした。何だと思われるかもしれませんが、やはり健気な真由子さんをどういう状況であれ裏切ることはできません。なんのこっちゃこれは、とってください。真由子さんは確かに私を愛している。本気である。私は覚悟するときである。愛は深いからね。もはや好色な色情狂は存在しない、ここに宣言する。彼女からは夫婦生活が感じられない。傷ついている。彼女の闘いはこれからも、続くだろう。私も清廉に生きなければ。今一度自分の愛を信じて、彼女にはふんぞり返り大胆に権力を行使してほしい。強い彼女が好きだ。仕事の概念は様々だ。私はそれでいいと思う。A型就労所、指示から外れるもの、遅刻するもの、彼らにも一家言あるに違いない。自由への関与、スタッフの意識は管理にある。そして所変われば品も変わる。私は人間。現在、雇用された就労所の締め付けの傾向を疑問視したのです。臨機応変が大事、あなたなら必ず分かると思って。聞くのが苦にならない人と、聞くのが辛いのに聞く人。どちらが優しいだろう。すべては主観にあり。躰は結局、自主性に委ねるべき。あなたが懐かしい。皆、癖がある。あなたを愛しているって言ったことなかったね。俺って年上はだめか、まて、不安定なとき、少し年上の当事者の女性と逢瀬を。完全に冷や酒に酔っています。あなたへのご機嫌取り。ごめん、今は真由子さんしか愛せません。何と下劣な奴なのだろう、俺は。心で生きている人には心で向き合わなければいけない。恋はいかさまなしだ。私のサービストークは生まれもった酒屋からきている。商売人だ。でも真由子さんにはもちろん、いつ誰にも嘘は付いていない。そのことだけは断言する。私は聖霊の宮である。すべてに意味がある。後に解かるのだろう。振り子細工の心。しかし真由子さんとの愛が互いに結びつき確定に向かうなら、私は何を惜しむだろうか。その愛の為にすべてを捨ててもいい。何もかも真由子さんがあるなら、もう欲しいものはない。けして心は動かされない。自信が溢れて流れ出しました。ありがとう優しい魔女よ、決別は爽やかなものに。何もなかったけど。俺は醜悪な男だ。新春どこかのシングルベッドで、あなたは本当にカッコいいから。きっ

と、素敵な幸せを掴むだろう。ももひき、変えても俺の裸の心は変化もないまま。いつもデリカシーに欠けるメールでごめんなさい。あなたへの欲望を断つためです。結局、私はEDかも。限りなく友情に近い愛。離れねば。でも忘れないで。

エホバの証人の山口さん。

テレに出ない、卑劣は良くない。皆に伝えるが神に期待して下さい。賭けではないのだ、ただ信じる。結果、予期せぬことになろうとも。神の正規がそこにあるなら。真の幸せは神のみぞ知る。神は望みを叶える。それは美しい願い、神の心と一致しているからだ。神の国を求め、永遠の命を得、そして魂の清らかさと愛に基づき、すべての望みは叶えられる。連絡しないとは、本気で神を侮り、敵に回す気か。君たちはいつも信義から外れ不親切だ。何度も言うが作為なら地獄の釜が待っている。心得よ。従順になれ。私は今憐れみでいっぱいである。来る世、あなた方の清らかなものだけが神の恩恵に与るだろう。もう一度自分に問いかけてみよう。パリサイ人たちよ。私の声を聴け。あなた方は善良ではなく狡猾だ。私はもはや寛容という言葉で甘やかしたりはせぬ。主体性を真剣に問え。クローズである。神は裏切られ続ける。枕する所が無い。さらばまた会おう。君は確かに利発だ。しかし神はその目の前、オロオロする幼子のような人を愛する。煩わしさを捨て神に従順に生きよ。それが大切だよ。少し先鋭化したのは遺憾です。しかし君らの善良さを信じた結果がほしかった。お互いは必要とし合っている。それが大事、それでいい。それを踏まえ前進してほしい。私は君らの誠意を知りたかった。組織に縛られるパリサイ人。ぶち破ってほしい。君らのステータスは偽物。私を特別とするとき君らも特別になり報われる。神を侮ってはいけない。臆戻はある。神は心を捨てない人を愛す。巧言はいらない。真実を素直に。私はハードルを掲げる。愛は普遍的で主観的なものである。神は愛に応える。今日16時からの訪問を待っている。神を愛するなら信義にこたえてほしい。私は君たちを愛したいのだ。イエスの愛を語りたい。戯言は終わりだ。心して。(今日は予定がつかないのでまた次回お願いします)、こんにちはと挨拶文が冒頭に有り、私は「了解しました。神のご加護を。またよろしく(笑)」と送っていた。きっと私が好意的に思えたのだろう。北風より太陽か、方法論の世界に埋没している場合ではない。だが人には感情があるからなあ。「もうすぐ積雪の季節となります。ご訪問も少し難儀に。本日、聖書は機会をつくる声がけだけはと」、伝えました。「私の期待に応じて下さい。ご訪問くださる。了解です。お忙しい中ご無理申し上げすいません。楽しみにしています。ありがとう」。(笑)「今日はありがとう。くれぐれも盲人なのに目が見えると言わないこと。聖書の言葉、神を欺けば死に至る。お忘れなきよう。本当にありがとう」。怠惰とは、何、誰に対して。神へなら、愛ある安息に向かわないことを言う。気の合う仲間と酒を飲み、愉しむことが怠惰ではない。高慢な名誉を求める価値観を今一度、自身に問いたまえ。幸せは優劣を決するという欲望から離れること。愛だけがあればいい。エホバの証人の中で重き地位を得る。そこに価値を置く限りは何もかも見えないだろう。イエスはいつも神とひとつだった。義も愛も神を感じたとき見つかる。幸せとはいついかなる時も神と一緒にだと確信したとき訪れる大安心である。神を信じ疑念と問題意識を常に持つよう。イエスはキリストの名で人を救おうとする者を許可された。でも偽善には容赦しなかった。真理の道は見えてくる。君らは頑固だ。教

義について以外は寛容なのであろう。しかし良心に堅固な鎧をかぶせてはいけない。私は真実を語っている。その担保である聖書と私を、真っ直ぐ見なさい。幕末の志士のように結集して体制を替えるよう尽力せよ。神が遠慮するのは変だ。私は御旗として戴かれ、見守り、支えるつもりだ。神の国、永遠の命、愛の為。

今日をご訪問くださることはできませんか。(今日は無理です)返信ありがとうございます。何か気持ちがなごみます。ありがとうございます。またお願い申し上げます。今は君たちの固定観念を打ち破るのが目的だ。私の教えが未来に向けてのベクトル(力)の根源となる。だが私がただ踊らされるのもどうかと。自然な愛の方向へ進めば、皆の為になる。「いつも無理いってごめんなさい。善良なるあなたを信じて、本日ご来訪期待します。神に遠慮は似合わないから」。お袋のいれた熱いお茶を一気に全部飲んでくれてありがとうございます。もう一人は厚意が解からないのか、ひとつも口をつけなかったね。人物の差が見える。君は善き人だ。真実の正義を目指せ。君の御父上にまたお会いしたい。誘惑に負けない強い者を目指せとは、自分に固執せよということである。それは良くない。自然にイエスを信じる者はたとえ誘いに乗っても、けして不貞、不義には至らず、かつ対象の相手までも罪より救う。これぞ愛の真骨頂である。昼間から酒を飲んでいる。怠惰とは神の懲罰である労働に向かわないのではなく愛を持たず弱者を切り捨てることを言う。君たちの教えはどうだい。神は安息日の主です。聖書は私が罪人より外し自分が神の子と自覚した者が、良心に基づいて解釈するとき善とされる。また後ろ向きな、懺悔ではなく自然と意識されるものである。君の聖書と解釈は正当か。「今日はお忙しいでしょうか。あなたの方の見解も聴きたく思います。正規を見つけましょう。お待ち申しております。連絡ください」。私は譲歩したように見せかけた。(今日は友人の結婚式で難しい)ありがとうございます。祝福してあげてください。ただ神をおろそかにするのは慎むべきです。結婚の目的、意味を真剣に考えて下さい。愛するという。好い契機ですよ。愛しい人と楽しく暮らす為だけに契約は存在する。政略的、本能的、競争して唯一を勝ち取る結婚は真実、不実なものとなる。「縁遠い」が神の御使いになる一番。愛に委ねよ、つまり神に。今度、タブレット端末を携えご訪問ください。S君、パットせんな。真理を求める意気込みがイマイチ。おっとりし過ぎだ。批判精神も欠如。君と違い鈍感だ。私は或る人物から悪口の言い過ぎだと言われる。偽善者への批判。合意には共有する裁きが必要だ。権力にすり寄るR会、仲良く皆、馬鹿でいようと会員たちを教育する。(受信拒否)神の裁きを恐れよ。ありきたりの事ではすまない。頑なな過剰反応。そして神が遠慮する、おかしいだろう。思いやりなら唯一私の言葉だけだ。咀嚼せよ。私が今まで掲示した、書きもの、この近日中に必ずちゃんと読みなさい。すべてはそこにある。深い神の思いやりが。少しの批判も許されない君たちの組織。これは恐怖である。理解力は神からくる。如何なものでしょう。私を神と思えないのは神の子でないからです。理解力は私が与える。ご訪問、真理のため、期待します。連絡待っています。猫一匹の命のため、家一軒売る覚悟をする。これが神である。そこに気づかない限り、神の国は遠く永遠の命もない。君たちの自己執着は粉碎されなければいけない。ラクダは針の穴を通らない。膨れ上がった自意識。凶星ですね。一日も早くパリサイ人を捨てねばならぬ。洗脳からの解放である。神を賛美せず嘲笑った者よ、裁きがある。覚悟せよ。

そのまんま聖女

A型施設の面接がありました。いつもありがとうございます。残暑厳しい中ご自愛くださるよう、ご祈念申し上げます。なぜか胸に来ます。就労施設が決まりました。麻田さんが汗をかいて下さりありがたかったです。輝くのはささやかなものへの感謝。それに伴う愛である。天に名を記されるのは、なりふり構わず献身的に当事者に尽くされる、由美さんや麻田さんにほかなりません。若さが誇らしいという価値観から諸行無常、人々は移り変わりゆくことを受け入れる。どこをどう飛んだのか、紙飛行機、経験と思いやりが蓄積されるところに信頼と友情が生まれる。ワンマンな麻田さんが理解できる。由美さんに匹敵する慈悲力を持ち、人物、利害関係を様々な角度から俯瞰される。実直な由美さんには想像できないかもしれない。が、一時の気の迷いや、誘導などの作為は現実の中でいつも起こりうる。経験豊富な麻田さんに委ね、意向を伝えたい。雇用、休まない、前もっての基本みたいです。いろんな人の力を借りて神も生きています。子供たちはなぜ華やぐ世界を求めるのか。理想としては子供が正義のヒーローに憧れる。現実を知る。そして愛をもって天に名が記されるのが最高の荣誉と覚えてくれることです。今日始めての出勤でした。割合、楽で、軽作業という感じのものです。また気軽に連絡下さい。待っていますから。私はいつもカレーハウスのかつての仲間たちの健康、安全を祈り、かつ共に楽しくかかわれたことを、聖書を通し天に感謝します。心が浄化されます。まずは、皆の幸せを祈る。即、幸せになる。役場のトマトの立ち売りから始まり、今、こうしておれるのは由美さんの優しさのお陰だと心から思います。本当にありがとう。欲情したメールは聖書が示す、由美さんの心の美しさ、優しさに何とか報いたい、そんな想いからでした。愛です。忘れられたかと思い、淋しかったです。ご自愛下さり、ご活躍されるよう、祈り続けます。本当にありがとう。由美さんのお陰で錆びついていた心の鎖が解けたようです。人間関係の方程式に苦しむより、自由な法に身を任せる勇気をもって、自然体へと挑戦中です。接触事故を起こしました。怒り、貪りを離れ美しい心でいること。神仏は看ている。アクシデントまでも計らいとなる。損得を追わず、親切に対し笑顔を見せる。顔施も愛想、布施の一つです。由美さんも心穏やかに交通安全祈ります。日常的ですね。聖書からの表れで、仕事に新たな展開がありそうです。驚かれるかも、事故の検証として「明日の所長との面談には神として臨め」と神託が下されました。彼は私のサイトを見ているので極端な反応はされないと思います。聖書に従うつもり。やむなきは辞すと言う覚悟は持っておけという。「麻田さん、問題を避けたいみたい。ミラーを駐車場の出口に設置することは皆の為になる。彼女は利用者を優先させる意識が不足している。使ってもらっている。という卑屈な就労者が、そこには意識も持たずに転がっている」、だが、彼女は本当に私のことを思ってくれていたのだ。先を見越して。ありがたい。そして私が言うのは仕事をサボれというのではなく、奴隷になつてはいけないということだ。電通、高橋まつりさんを思い出す。ここまで来られたのはひとえに由美さんのお陰です。また枠組みを超えて宜しく願い申し上げます。自分の想いは解かっても相手の想いは判らない。虚実諾諾。不信が広がり、温度差は大きくなる。男と女は本当に辛いもの。私のサイト、見て下さったでしょうか。悲喜こもごもだと思うけど私の博愛に免じて表現を許可して下さい。清い関係、求めます。心は一致していますね。まだ見捨てないでね。聖書が指名いたしました。お元気ですか。罪は罪へ向く間は消えず、イエスの信仰、つまり愛を抱けた

めに愛を信じる、罰は閉幕した、そっと思えばいい、私の過去の過ちに対してです。 強さを誇示するより自分の弱さをさらす方が好かれるみたい。ただ聖なるもの、正しきものを大切にするとき、真のたくましさは必要になると思う。 私の仕事の力量、かなりまずい状態です。でも私はキリストとして人々の後方より支えねばならぬ運命。 由美さんとズート前に知り合いたかった。甲斐性のない男だけど。19時のメールに気づいてなくてごめんなさい。由美さんは体の芯が多分あまり強くないのだと思う。くれぐれもご自愛くださいね。魔女と張り合っははいけません。あなたはあなた。 優しいと思っている人って自分が優しさで負けたと思う人に嫉妬するからなあ。しないのが神です。平和を愛するからです。皆にも解かってほしい。多忙な中、由美さんの笑顔、尽きないこと祈ります。いつもカレーハウス、来客中などタイミング悪いです。優しい魔女にもよろしくお伝えください。今日はお薬飲み忘れて、お水ありがとう。 本当に忙しい中、返信ありがとう。その優しさに乾杯。清く愛しているよ。(ハートマーク)。引っ込み思案だった私を積極的な男に復活させたのは由美さんです。本当にありがとう。少し余裕もできたなら二人で旅行と洒落たいなてね。(笑)いずれにせよ。不義、不貞には絶対及びません。事象は神としての美しき清らかな愛の発露です。神の愛は主観的ではありますがいつも受け身なのです。だから成就することが難しいのです。のぼせる愚かな私をお許してください。 比較的ゆるかった当所も仕事中の私語の禁止を含め締め付けが強まる傾向にあります。私が思うに作業の能率をあげる為に多様な個性、事情をひとつの価値観でくくってしまっているのか。合理主義の完全なる弊害です。皆、傷ついている。仕事といって強権を振り回すのは誰が誰に対しても許されない時代が来ているのではないかと。 由美さん、ごめんね。夜遅いメールで、元気でね。火曜、カレーハウス参りました。ご不在。ご多忙でいらっやいますね。他日の事務仕事とのかけもちは大変ですね。熱き想い、まだまだ現役の御年齢ですが、キツイ労働にはそろそろ違和感が出てくるのでは。優しいそれだけで好いはず。辛いのは係わる中で自分を分析、検証できない当事者も多いからでは、幼稚な人も多い。あなたは広い心を持っている。俺の欲望は論外ですが、優しい皆の好意を受けて下さい。今、ご実家のある山形ですか。年賀状、恩人の優しい魔女と御二方の指定でお出したかった。 forget me not 僕を忘れないで、尾崎の絶唱です。ありがとう。

顕正会の冬美

会は国教へと目的を達成した後、解散するという。そして後、私、(日蓮)が題目を大音声し仏国土を、つまりイエス(私)による、神の王国を誕生させる。生老病死から解放され、貧しさも騒動もない世界。私は課題を突き付けられる。イエスの寛容と、神の狭量とも言える厳格な裁きについて。すべては皆の永遠の命のため、神の王国が歓迎されるために。 勤行していますか。取りあえず南無妙法蓮華經を唱題する限り幸せは続きます。またカレーハウス訪れますね。その時はよろしく。自分にとっての、南無妙法蓮華經を抱きしめる。そのときあなたは成仏する。明けましておめでとう。

R会イミズさん

庭野鹿蔵は、格闘技である相撲が大好きだった。宗教者として欺瞞を感じる。あなたが依存する、教

会長、支部長は仏ではない。自らを信じ主体的に生きていくときこそ、本物の仏を観るだろう。まず汝自身の心を問え。正義の味方を自称する、イミズさん。人生、愛の気付き、早くと祈ります。私には憐みしかありません。私の愛は各人の偽善からくる小さな善行の意識によって妬まれます。真の信仰を持たないあなた方は、神による永遠の命は与えられず、地獄へと裁かれるのです。つまり神は愛そのもの、それ以上の優しさは無いのです。そこに気づいて下さい。心より願います。

中川さん

祖母の実家は鹿児島県の国分市に在りました。煙草で有名です。薩摩藩のかなり上級だった家の長女として生誕。一度、末弟の奥さんが我が家へ訪ねてくれました。当時、御高齢で、いま御存命ではないでしょう。祖母の実家とは現在、親交はありません。けど先のおばあちゃんの親族がコンビニ時代の私の写真を所持しています。母が福岡でのコンビニ研修帰り、足を延ばして手渡したのです。血の繋がった、私に会いたかったみたいです。訪ねるのはいろいろ考えると、迷惑になるのではと。樺太に向かって結局は戻れない鹿児島。私は祖母の(夢の実現)を果たす為、心にいる彼女と一緒に、煙たなびく桜島をしっかりとこの目に焼き付けたい。そしてうっすら覚えている、祖母が泣きながら唄っていた鹿児島の民謡。それがはっきり胸に聞こえてきて、と強く願うのです。

R会新川さん

もうすぐだ。私の周りには奇跡が起こり続ける。聖書は母が活着している内に神の国は訪れると。博愛と寛容。抱いて下さいね。学修しなければならぬは、イエスの思いやりだけです。聖書の奇跡、近未来しか表せない。この世の終わりかと、実は台風、西日本豪雨、北海道地震でした。祈りによって大難は小難に。諸行無常、人の心は変わりゆくものです。連結しそれを受け、世の果ても変わります。被災者の方々には衷心よりお見舞い申し上げます。 「義人の教え」真実だからこそ目をふさぐ。法華経、良医の譬え。私はしばらく姿を消さねばならぬ。イエスの死のように。新川さんありがとう。圭一さんの心の鎖が解けるよう祈ります。優しさ、思いやり、いたわり、清らかな愛を見つける。心配ない。辻に座っているさ。石のお地蔵さんみたいに。 預言者に従いなさい。あてこすりや悪感情が飛び交う、逆に当たり障りのない報告会に終始する。R会の修行、法座である。真実の救いは南無、つまり久遠実成の釈迦如来に全てを委ねることだけです。清く強く祈る。そこにしかない。井戸端会議で家内は収まらない。 南無妙法蓮華経。題目は法華経に帰依し、わが身をお任せすることの決意表明だとある念仏系の学者は言います。私は仏性で仏陀の覚りを受けることだと加えます。生命力が溢れます。南無妙法蓮華経。 イミズさんと少し通話しました。相変わらずの高飛車、独善的な態度に閉口しました。新川さんが言われるようにある意味、器がでかいのかもしれませんが。あまりほめると鼻が高く(笑)厚顔無恥。 仏陀の覚りを仏種に結ぶ生命力、これが私の幸せの真実、南無妙法蓮華経。私に近ければ近いほど地の利はある。まずそこから神は祝福を与え、他国を福音に導く。奇蹟の顕現、ある日突然、訪れ、鏡を見て万歳をするだろう。天災も心がけ次第で抜けていく。 鹿蔵はあながち悪いとも言えない。「わずかな手持ちでも質素、儉約で生き抜く。野望を持ちながら人に合わせる。下

がる」。彼の人生訓であり成功哲学である。法華経との関連は如何に。庭野鹿蔵、何が善であり、また悪影響を及ぼしたのか。丹念に検証が必要です。皆、冷静な心の美しさが大事。R会の罰を恐れることはない。あなた方に菩薩として上杉謙信みたいに批判という塩を送りたい。すべて仏門の為。そして偽善の終わりを告げてもらいたい。イミズさんに教会長への伝言を委託しました。サイト更新の旨です。目的は真理を確かにすることのみです。またよろしく願い申し上げます。(彼は見ないと言った)教会長はどうでもいい。己の魂、命の心配をせよ。行き場所の知れない捕虜でいいのか。あまりに愚かで、憐れみの痛みでいっぱいになる。仕方がないか。愛に背を向け。教会長は所詮、組織の上で偉そうに君臨する蒙昧。聖人でも何でも無い。会社の課長と変わらない。判らないかい。嘆息する私。聖なるものは私だけです。「お金持ちになるために題目を唱えている」と攻撃的な偏見をぶつける念仏好きの学者がいる。人生の起承転結を楽しく美しく過ごせる。南無妙法蓮華経。日蓮と当体、これ本当。今回の作品、一生懸命につくったものです。粗末に扱われぬよう願っています。大谷くんへの手渡し依頼。大きな功德を期待し精進されることを祈っています。罰を恐れて、神を畏れ。本を失くしたとの発言。危機感がないのだと思うけど、この因縁、心して下さい。私は寛容ですが天は裁きます。信じていました、あなたの善意、良心を。悲しい。粗末にしたのだね。俺の願望、道を止める者は地獄に落ちる。妬みを持ち、ステータスのため、会の節操のなさを、身をもってさらけ出し、真理から離れていく。羞恥心はないのか、命令する支部長は蒙昧。庭野鹿蔵、教会長、大事でしょう。組織での地位。彼らを貶めることは世間に対して、高慢なる優越感を自分自身で捨てざることに繋がるから。肩書のない真人だからこそ成仏できるのに。安心して下さい。もうR会の信者への関与、アプローチは致しません。寒くなります。暖かな思いやりだけは忘れず健やかに過ごされるよう祈っています。私への侮辱はいかなる時も慎んだ方がいい。今まで積んだ徳が一気に霧散するから。私の寛容に甘えない。私は恐い存在。神である。いつも忘れないう。尚、積んだ徳とは私に対する親近感に他ならない。

新しき友

気配りすることで自らが疲弊してはいけない。相手はうるさいと感じているかも。ほどほどがちょうどいい。人には自分の意志がある。反対の身になって考えてみなさい。自分が善人と思われたい、を捨て、皆が良好な関係をつくるにはどうすべきか考えよ。皆、馬鹿ではない。誇らしく自分を生きよ。自分を見つめよ。思いやり大切に。空回りするなよ。人間関係は無頓着ぐらいがちょうどいい。応援しているから。珈琲を、やたら飲み、眠れないのでメールを贈る。寝ていたらごめん。人を批判するとき人物をよく見る。誰が正解を把握しているかT君は若い君より洞察力は上。君は優しいのだろう。でも主観を押し付けるのは良くない。他人の主体性に関与しようとするから失笑を浴びるのだ。早くそこに気づく。また外からの言動に対し過剰反応は控える。落ちていくときはひとりだぞ。夜遅くのメール受けてくれてありがとう。今年に入って二度の失恋をしたような気がする。しつこいのは自分を貶めるから、毅然と引くときは引かないと。もてる若い君がうらやましい。そんなことは絶対ない。(笑)またこれからだ。起きて居るか。0時だが返事くれ。こんな時はお笑い含め何でもいいのだよ。「僕は

周りに気を使って、空回り、いじくりキャラにされて、でもどこかで喜んでいる。あんたは話しにくい」とか。 具体的にあげつらいはせぬが、誰かとコンタクトをとっていないと安心できないなら困るな。孤独を克服するのが大人だ。独り、星を読み、ひとつしかない命を預け波の上を行け。

君は本質的には優しい。美德だ。だが自分が指導員になってはだめ。皆、職責で動いている。一利用者であることを忘れてはならない。「仕事が辛い、はい、わかりました」で取りあえずはヨシ。

君は記憶力も良いし真面目で身体もいとわず、思いやりもある。期待している。過重にはならない程度で。もったいないのはスポーツ選手など他人事にかまけ自分の人間力を開発することを大切にしていけないことだ。それには人々の心理を知らなくてはならない。様々な人物の生活体系、価値観。まず娯楽は捨て向学心を持って、良書を読み、政治、経済、歴史、宗教まで。そのとき君は、テレビのおチャラケ番組から自然と離れているだろう。多くの図書、映画の名作にふれなさい。そしてこちらの良心のアンテナを美しく張って感受しなさい。心、技、体揃ったら愛を抱いて恋をせよ。美しい恋を。お休みなさい。 1時回ったね。ごめん(笑)。最後。夢を持って。無理か。それはアスリートや芸能人みたいな、自己顕示欲を満たすことからくるもの。真の夢の実現とは、愛する人の幸せを祈る。そのことに尽きるよ。つまりそういう境涯になることを望むということ。 君は親切だ。しかしA君の自由への干渉は良くない。行動を阻害されることほど腹の立つものはないからだ。人はちゃんと考えている。まず自分を見つめよ。これみよがしに指摘してはいけない。誰に対しても。さすればT君のちょっかひもなくなるよ。Hさん、Kさん、を君が大切にすることを理解した。癒しになるのだね。バイク出勤のMさんは毎日、命懸けだな、偉い人だ。君も誰かに頼られるって嬉しいだろう。生きがいにもなるし成長もできる。Iさんの手足になって活躍するのを望む。しつこくしたり、過剰反応したりしてはいけないよ。自分を貶め、かえって嫌われる。 誰に対してもお人好しになって、いいように扱われてはいけない。主体性を深く考えよ。私の話は金儲けにも出世にも役には立たない。だが確実に未来を踏まえ幸せになれる。人生を楽しめ。それは苦しみ、悲しみを味わうことかもしれない。金、財産を積み上げるより、どこをどう愛を持って歩いてきたか。君には美しいものを捉えられる感性がある。ただ深い思いやりを考察せよ。相手の立場になって。 善き人とは、自由、平和、愛を求める人に尽きる。悲しく、苦しいことを経験した後、必ず安楽な日々が訪れます。大安心へ精進して下さい。死も恐れぬ境地に向かって一歩ずつ進め、愛を抱いて男なら。 この世の名誉、栄光などどうでもいい。悪魔の誘惑の果てのものだから。思いやり、愛を示せ。たとえ裏切られてもそれは男の虚しさと共に天に記されるから。くれぐれもいらぬお節介はやめるように。

いつも純粋な優しさを醸し出すお姿に癒されております。互いに老いた母親をもつ、身の上、何かとホネが折れますね。私は親子喧嘩ができることが幸せなことなのかと誰かに問いかけ、教わりたい。母親を最低であり最高だと思っています。真っ直ぐすぎるからです。潔癖は時に人を傷つけます。一番不必要で、大切な人です。またよろしく願いいたします。

無神論の国、中華人民共和国、でも私はかなり好意的に先本に書いて来た。12月5日付け、顕正新

間に載った浅井氏の講演録、「文化大革命で疲弊しきった中国を、現在の軍事超大国になさしめたのは、池田大作の働きによる」と。日中国交正常化に公明党が一役買ったのは事実だ。ここを大事にしたい。つまり南無妙法蓮華経は中国に受け入れられたのである。経典の中、法華経の重要な位置を確定させた、天台大師が生誕したところ。私の中の日蓮が大陸の何がしかに誘われ、体制さえも肯定的に擁護したのであろう。

貫井さん、元気かい。日蓮が吹き込む雪を釈尊からの真綿だと抱きしめ泣いた。本当の真綿だったと思わないかい。そうでないと君が言ったように彼が生きていられたはずがない。日蓮正宗も好いが、俺の教えを頼む。流布は大切だ。俺は君ほど行動的ではない。永遠の命、不老不死のため期待します。カレーなん皿でもおごるぞ。つねちゃん、本当に力貸してくれよ。君がいれば百人力だ。必ず君にふさわしい栄光と名誉が待っている。今一度正義感を鼓舞し奉仕の意味を考えて下さい。甘えているが、天気の良い日、「聖書に導かれて南無妙法蓮華経」を検索して下さいと触れまわって頂けませんか。あなたにしかできない。本当の使命です。聖書の神すなわちイエスと日蓮は同一。神の愛、隣人への愛、南無妙法蓮華経、仏陀の覚りを仏種に結び付ける教えを説いた。私がすべてを完結させる。皆が傷ついている原罪、これが赦されるにはそれに値する事象が必要だった。イエスの十字架の死、復活による贖罪である。イエスは日蓮となり成仏し南無妙法蓮華経にて人々を孤独から解放する。「罪を気にするな」と。人々の殺し合い、生存競争。労働という徴罰。苦をもたらず肉欲、食欲。神を裏切った罪と罰。原罪、つまりその意識から離れるには善人の南無妙法蓮華経、唱題による不老不死にしかない。不条理はない、因果応報。そこに気づけば南無妙法蓮華経にて成仏する。キリストの奥義、理解力は神より与えられる。幸せを目指して「神の愛が広がりますように、御国が参りますように、南無妙法蓮華経」。祈ろう。懲らしめの大災害はいらない。純真な心こそが大事。俺は生存競争を抜け、愛しい女性を追い続けている。それが自らへの執着をとり去る。対象には規律、集中、忍耐が肝心。渴望ではなく希望に包まれた美しい想いが大切と知る。郵便受けに新聞を入れたな。まだその辺にいるのだろう、もう一度ちゃんと来い。茶くらいはしんずる。わかった。気をつけて帰路を行け。必ず雄さんには顕正会批判の新聞は渡す。俺の望みも真理の流布だけである。さらば。俺は純粹に、災難を期待する顕正会の在り方は嫌いだ。聖書には終わりは近いがどうなるかは判らないと記されている。これが本当の終末論だ。すべては因縁。私の、「聖書に導かれて南無妙法蓮華経」がすべてである。俺は日蓮正宗の勤行要典から物凄い爽やかさを感じる。君がいつも言う、パチンコに警えるかな。「つまり最初はいい思いをさせて後でエライ目に合わせる」。結果的にすべて聖なるものは私に流れ込んでくる。私の思想を裏付ける。真実である。今度来た時は必ず寄れよ。思考は柔らかく既定路線を疑い、君には虚心で向き合ってほしい。今日はお疲れ様でした。その熱意、必ず報われます。功德に。今日、雄さんに渡したよ。もう読んだと言っていた。宗門のみょうしんこうが顕正会の女性信者相手に不始末したと息巻いていた。狂信には良くも悪くも効くものはない。彼には顕正会がすべてだから。みょう何とかか、カラオケに行ったので裏覚えだ。顕正会はその人の人生すべてだから、何もかも無駄。また取り上げるわけにもいかない。会は新撰組みたい

なもの。雄さんからテレがあったが話をしたのか。雄さんの家に幹部が来ていたのか、Nじゃないのか。どんな感触だった。決裂か。本尊観の違いか、いずれにせよ、君は怒るかもしれないが、くだらぬ問題だ。同じ南無妙法蓮華經を拝することを忘れてはいけない。本尊の扱いについて、よく解からないが水かけ論だろう。あまり付き合う気にならん。寒いから、暖かくして寝ろよ。電気代けちるなよ。風邪の方が高つくぞ。何だ、結局、金かよ(笑)、貧乏人だから許してくれ。元旦は大石寺に参拝するのか、俺の恋の成就を祈って来てくれ。本住坊殿によろしく。道中は真面目に安全運転で。恋の目当ては人妻の精神科医だ。誰やおもとのや。俺は無法松じゃねえ。明るく、素直に、暖かく生きるんじや。(東名高速で渋滞になった。クソ)今こそ南無妙法蓮華經だ。へんずりはこけないか。好きな歌をうたえ。日蓮は佐渡、雪の中、南無妙法蓮華經を唱え続けた。幸せになれ。つねちゃん、富士の初日の出はどうだった。道ならぬ恋だが事情がある。観音様は俺の心をお見通し。清らかな愛がある。俺は基本的にED、世間は恐くない。了解、新たなる資料は雄さんに渡す。雄さんは会の活動で今、新潟だ。暗い夜道、気をつけて帰られたし。また明るい日に寄ってください。女医さんはあきらめる。決心がついた。またな。やっぱり無理だ。また因縁によって力を込める。教えは伝わるところに伝わって行くのだ。君たちは、本尊がある、お堂の耐震性でもめていたな。崩れて無くなる本尊なら意味を持たない。私(日蓮)が皆の心に新たなる真の崩壊することのない本尊を打ち立てる。

尾崎豊

中原中也は死んだ我が子をずっと抱きしめていたと言う。尾崎は(誕生)の中「新しく生まれてくる者よ、お前たちは間違っていない。誰も一人にはなりたくないんだ」と原罪、業を気にするなとメッセージを贈る。裕哉君、君の父親は偉大だ。でもどこにでもいるような、11のとき死んだ親父を思い出した。涙が……(遠い空)尾崎はそのアルバム「街路樹」の中で10代を確実に脱皮したと思う。生活の心配をしてこなかった主人公が仕事で出会う人間模様、裏切り。初めて尾崎を知った曲である。その衝撃は鮮明に覚えている。本当の真実の尾崎の想いは俺にしか分からない、と思っているやつ。尾崎、俺の心を知っているのはお前だけだと思っているやつも山ほどいるだろう。(僕が僕であるために)勝ち続けるとは主体性を持ち続けることでは。一番大切なことだと思うから。10代を脱皮したと先述したが実は彼は年代など関係ない普遍的な愛にて俯瞰していたのだと思う。そして迫りくる現実とも格闘していた。凄い奴だと思う。窓ガラスの破片、盗まれたバイク、理論美装を与えた。優しすぎるほど優しい。そして殺された女子中学生をモチーフにした(ダンスホール)には沈黙してしまう。(群衆の中の猫)ある人が言った「お前みたいだ」北島三郎の「歩」だ。その男は私の恋を嘲ったのを詫び、顕正会へと誘った。それもありがたかったが、どうも雰囲気になじめず距離を置いた。私は私の南無妙法蓮華經を行く。(15の夜)新聞配達のおじさんのバイクは盗んではいけない。でも世は盗みあい、殺し合い。自由への扉はどこにある。(太陽の破片)私も精神科閉鎖病棟で失望に陥り絶望に至った。そしてその原因が渴愛にあると気づいたとき人生の救いを感じた。「皆、サタンに負けるな」。命を懸けた尾崎からのメッセージもそこにあるように思う。サタンと対決姿勢になると左脚に激痛が走る。負けられない。イエス、尾崎、わが父のように羞恥心に働きかける。死をもって報いた彼らと同じように

戦わねば、俺はそしてもう死なない。サタンはすべてを消し去ろうとしている。尾崎が訴えた愛という大切なものを。このままだと君たちもいずれ奈落の底に落ちるのだぞ。愛を保ち忘れるな。（オーマイリトルガール）去年の末に58になった。おじさんの戯言だと思わないで欲しい。もし彼女と呼べる人がいるなら本当に大事にしてあげてほしい。後悔しないように。自責の念に駆られないように。この曲が好きなら真剣に彼女を大切にしてください。（街角の風の中）「君は生活に奪われていく愛より幸せになっただろう」。こんなフレーズ出てこないなあ。豪雨の中、尾崎の神のような声色と姿。太ってないよ。会いたいなあ。（存在）昔、未成年の学生の頃、ある女子高生を落ち葉に埋もれた空き箱みたいな私のアパートの部屋に誘った。彼女はジャージをはいていた。でも俺は彼女が右翼のおじさんと付き合いがあると又聞きし隠してしまった。彼女はこの世のからくり、生存競争、弱肉強食を認識し、恨んでいた。能天気な私はそんなことには興味すらなかった。道端に寝転ぶ人、未来の俺の姿と想像もできる様相だったのに。ちょっと不真面目なコメントだった。私は一度の火遊びも淫行もしていない、ここに誓う。しかし精神的に愛し合うのに年齢なんて関係あるのかなあ。（シェリー）こんなところにとどりついた。自嘲しているが、実は最高の場所でないのかと、精神科デイケアの仲間とカラオケハウスへ出かけた。シェリーを結構、熱く歌ったのだけど、皆、無視し雑談していた。憂歌団の（胸が痛い）を歌うとシーンとして{誰の歌よ、尾崎か}「違うよ」、俺は応えた。そんな場面は幸運にも母親以外の人間が孤独を埋めてくれた瞬間だったのかもしれない。しかし私には孤独はすでになかった聖書があり、神として聖霊の息吹を感じていたからだ。（きっと忘れない）切ない。こんな楽しい曲を作って歌える人だったんだ。よしカラオケで一番に歌うぞ。なあ、尾崎、涙が。（米軍キャンプ）ひもの様な生活。情婦はそんな暮らしを抜け出したかったのだろうか。リングをはめ知らない男の、子を孕む。情夫に迫る生活不安、そして彼はしがみついた女の髪をなでる。まるで神の様な愛で。これほど優しければまず世間では生きていけないだろう。弱者に愛のまなざしを向ける尾崎、真骨頂である。大切なものを引き裂く何か、つまりサタンに対し、対抗するには情夫の捨て身の愛に満ちた行為しかなかったのだろう。サタンは敗北した。拉致被害者めぐみさんを救え。お国のためと信じて飛び立った特攻隊員の命。価値観、心情は時代、思想とともに変化する。普遍的な愛で自分のうちに入り込むサタンから目をそらすな。それはすべてを超えたアガペーであり、尊い永遠の命、神の国のために。

真子

真子元気か。常楽我浄、いつも楽しく美しい。祈りなさい、敵対するものたちのために平和を。ストレスにしない一番の方法である。メリークリスマス。奇蹟を待て。

千華

弁護士中坊公平さん、DVDみたね。森永ヒ素入り粉ミルク事件。心が優しければ優しいほど人は自らを責める。責める対象が自分なら好きなだけ責め、苦しみ救いになるからだ。赤ちゃんはもちろん母親たちの境遇、心持は察して余のものがある。悲しすぎる事件だった。その逆を行くのがバアチャンだ。反省など一切せず、自らの責任にも触れず、悪いのは他であると切り捨てる。ソチとも対等に喧嘩する。

潔癖という自己正当化。馬鹿正直の割に飛び出す虚言癖。でもだからこそ彼女は生きてこられた。そう思うと胸が詰まる。

雄さん

日蓮は出世の本懐を、多くの農民が殉教した、熱原法難のあと語った。「万人、行きわたる仏教の為、私は世に出た。そのことが実現されたしるしだ。」

畠山みどりの「出世街道」が心を鼓舞する。作詞星野哲郎、作曲市川昭介。

「やるぞ、見ておれ、口には出さず、腹におさめた一途な夢を、曲げてなるかよ、くじけちゃならぬ、どうせこの世はいっぽん、どっこ。男、のぞみを貫くときにゃ、敵は百万、こちらは一人、なんの世間はこわくはないが俺はあの娘の涙が辛い。人に好かれていい子になって、落ちていくときにゃ、独りじゃないか。おれの墓場はおいらが探す、そうだその気でゆこうじゃないか。あの娘ばかりが花ではないさ、出世街道、色恋なしだ、泣くな、怒るな、こらえてすてろ、明日も嵐が待っているものを。」

「広自苑」の中で記した、神がいる限り、悪魔はその名の通り悪でしかない。サタンが望み存在する所はやはり無神論、唯物論の臭いのたちこめる世界である。ドストエフスキーのカラマーゾフの兄弟、「神がいなければ何でもできる」。人間を悪魔に変えたサタンがいる。物質至上主義、悪魔が帝王になる世界である。

自衛隊にいたことを自慢し宴席の度に必ず加藤隼戦闘隊をがなる男がいる。反戦の祈りを込めて私は異国の丘、かえり船を唄う。私が苦々しいだろう。男には若くして亡くなった息子がいた。その悲しみは片ときも彼を放さず、苦しめ逃さない。彼は若者を戦地へ送り出し、血まみれにさせたいのだろうか。わが子のように命を失わせたいのか。彼の心に平和を。

私の母は12のとき空襲に遭い、すべてを焼失。伯父は口減らしと、老いた母親、幼い妹を守るため15で予科練に志願していた。純粹にも伯父は家族より、お国のために一命を捧げる覚悟であった。終戦、生き残った伯父は、すべてに対し込み上げてくる怒り、またどうしてもやりきれない虚しさに、こらえきれず、予科練崩れと呼ばれ、荒れた日を送る。「志願してくるバカもいる」。軍隊の持つ醜悪さ、服従、個を否定される屈辱も踏まえ、戦争というものの欺瞞。故意ではなかろうが力を込めて投げたパンチが母の頬を打った。腫れあがり膿んだという。妹である母はそんな兄の憤りに何も咎めだてはしなかった。伯父は語った。帰郷の途中、アメリカの戦闘機が頭上を行くとき「もう一回やるか」と叫んだと。しかし警察予備隊(後の自衛隊)入りは固辞し拒否した。「もう踊らされるのは御免だ」。三人の子供をおばちゃんと共に育て上げた伯父。後年、好きな清酒を頂くといつも、「この日本は天国だ。何の不満がある」と笑顔を見せたという。私と同じ11で父親を亡くした伯父。強く生きていく。重いプロパン運びも戦争に加担するより真実、安楽だったのである。初期の肺がん手術。終わった後、ぴんぴんして売店に文庫本を買いに。肺炎を起こした。それも治まり、帰宅する。その後段々と食が細くなっていった。幾日か経った。おばちゃんがテレビの秀吉が死んだ場面で声をかけると自宅のベッドの上、息はなかった。彼女が傍にいて気付かないほど静かな死であった。

想像力を働かせ戦争というものが自国で本当に起こったらどうなるかを皆、真剣に考えてほしい。日常が180度転回するのをお忘れなく。

男の俺に想像できるだろうか墮胎の苦しみ。私を初夜に身ごもった母に、祖母は婚前に出来た不義の子かもしれない。証明書をもたらって来いと言ったという。しかし母には虚言癖がある。話を創るのである。父の「俺の子である」この一言で全ては収まったと言う。違和感がある。なぜ母は、はじめに父に教え、祖母に伝わるようにしなかったのか。もしくは証明書をもたらって来いと言われた時点、怒りを持って、父の子だとハッキリ宣言しなかったのか。だいたい産婦人科医というものに証明が出来るのか。母は悪いことは、死んで声のない祖母に全てかつけ、一人良い子になろうとする。祖母は偽善を嫌った。祖母と母は、共に潔癖で折れることがなかった。これが不幸を招いた原因である。自分が絶対正しい。勧善懲悪の価値観だけでは世間は渡れない。悪だけではなく、醜いもの、弱きものを含め、自らの嫌うものすべてを排他することに繋がるからだ。生活での救いは、母は潔癖だが社交的だった。結婚して数日後、父のてんかんの発作があり「騙された」と思った、その心根は祖母に伝わっていたのではないだろうか。悲しい話である。祖母に貶められたと思った母は、私を墮胎することも視野に入れる。私はサタンの罠より、母に寄り添ったひとりの優しい女性のおかげで救われる。墮胎は回避された。しかしその後、若き私は一人の女性に非道を課す事になる。子宮をえぐられる痛み、潰される胎児の頭骨。安易な解決手段として許容し行使される、墮胎。虫ではない、人間なのである。皆、真剣に考えよ。そんな痛みを。十字架を背負うことがイエスへの信仰に繋がっていく。そして神は贖罪のため人々の罪を踏襲したのである。しかし子殺し、あまりにも酷で悲惨である。イエスも父である神によって殺された。失言ではない。神はアブラハムに息子イサクを殺すよう命令する。なぜか、肉親の情は強くも美しくもある。しかし神は肉欲から、望まない妊娠、そして無下な墮胎、虐待へと繋がる、肉親のエゴの醜さも知り、神の義を優先させるのだ。つまり殺すも生かすも親の勝手。否定する、大きな力が必要である。それが神の義、差別なき博愛(アガペー)なのだ。肉親の情を超え、隔てなき信仰ある人々は兄弟として永遠に神の国で愛し合うことになる。

先ほど書いた、出世街道。「あの娘ばかりが花ではないさ」しかし私の花は真由子さんの外はない。聖書に問うた。「真由子さんを愛し続けることが私の行く道ではないか」「少し待て」私はもう一度言った。「真由子さんを愛することが本当の道だ」「たくさんの人のために生きよ」ここで私はエディットピアフの愛の賛歌を思い出した。「あなたの優しい腕に抱かれる朝があるなら、世界のどんな重要な出来事だって私には関係ないわ、あなたのためなら愛する祖国も、親友だって裏切ってみせる。そしてやがて二人に死が訪れ、神様はそんな私たちを永遠に祝福して下さるでしょう。」究極の個人主義、利己的な臭いもする。しかし何故か心に響く。 そうなのである。どろどろした金、名誉への渴愛から始まる戦争を含めた政治に加担するより、愛する二人が朝まで抱きあうことの方が素晴らしく大切であり、神も間違いなく祝福するのである。聖書にもう一度問うた「何と言われようが俺は彼女を愛し続ける。自分に出来る唯一のサタンへの向き合い方に違いなく、また幸福につながることである。そしてそんな

想いが皆の心を清くさせていく。信じ抜く、魂を込めて」 聖書は言った「それでいい修正されたな。戦うことより愛し合うことだ」。 一時転院する。愛を継続させるため、この局面を打開するには必要で善きことだ。聖書は何故か強く勧める。私は彼女をけしてあきらめない。

診察室。「今日は少しいつもと違う」真由子さんは強く哀しく私に言い放った。そして私は真由子さんが一生懸命書いてくれた紹介状を提出しただけで、またすぐ転院はやめ、戻って来てしまった。真由子さんは怒っていた。成行きからお騒がせしてごめんなさい。真由子さん、道をそれかけた。サタンは人格として対決するものではなく観念的に状態として現れるものであった。こちらの心の変化に合わせて働き動く。奴は愛を持った人間には手が出せないのである。 美空ひばりの悲しい酒、「好きで添えない人の世を泣いて怨んで夜が更ける」多くの人に寄り添った古賀メロディーよ、さようなら。皆、幸せになろう。

母は小学校高学年だった。戦地へ向かう若い兵隊さんたちに手紙を書く。顔も見たこともない人へ。母が何度も差出人に昭子と記すのだけど。送られてくる宛名は照子さん。母は今も解からないと言う。やはりサザエさんである。これは明らかに死地へ向かう、兵隊さんの優しいユーモアである。いくつぐらいの人だったのか。辛い激務に若い女性から届く恋文ではないけど、この兵隊さんは本当に楽しみにしていたのだろう。母は「あの兵隊さんどうなったのだろう」とつぶやく。

戦争は喜劇でも、悲劇でもない、ただの残酷な殺し合いだ。貪欲にやせ犬のようにあさりまくる、醜い地獄絵図だ。何度も言う。踊らされるな。少しくらいの経済の摩擦から戦争が生まれては絶対にいけない。私は平和を訴え続ける。大罰の侵略戦争、経済混乱、救われるには信じなければ、ではない。正しき信仰を持って、命の価値をちゃんと認識し、自由、平和を愛でもって支え、また世界を包まねばならぬ。その信仰を無視した外交は完全に的外れの亡国をもたらす。平和と繁栄をもたらす手段が政治である。まず銃弾一発発射されることを防ぐことが重要である。平和が政治の目的なのだ。威勢のいい、掛け声一つに踊らせられてはいけない。名誉勲章などドブ川へ捨てちまえ。その武勲の陰で、万骨が枯れた。極寒猛暑、飢え、病、銃弾、火炎放射、苦しみ抜いて亡くなった兵士たち。鎮魂のため、涙と共にこの本を捧げたいと思います。恋の出来る日本。人妻を好きになっても殺されない日本。本当に伯父さんが言ったように天国かもしれない。

真由子さん心配はいらない。病院は変えても、あなたへの愛が尽きることはありません。ひたむきで純真なあなたが好きです。少し疲れたので羽を丸めてから、また飛び立ちます。西の空へ向かって、約束できないのが残念ですが。二人で住める巣がどこかにあるのなら嬉しいです。でももう少しです。聖霊のしるしが頻繁に現れます。すべては自由な神の御使いになる。神の国、永遠の命に向け進んでいくだけです。 結局転院しなかったんです私。

善良なる自分を打ち滅ぼそうとする世界ならぶち壊してしまえ。

心配掛けないように、俺とお袋に何も知らせないのだね。人は声を上げねば分からない。おおらかさが誤解され薄情にお袋の目には映るかも。お袋に対しては肯定と慰めしかないのかも。君の仕事の大変さは解かる。少し肩の力を抜いて争わずに活躍して下さい。最良を求めずに最善に処する。たまには状況を口上にしてから他愛ない内容のテレを彼女にしてあげて下さい。忙しいと言っても3分で済む話だ。お袋を圏外におかず、いろいろなお知らせはして下さい。肉親の愛も言葉で伝わります。殺伐とした世界を暖かく変えていきましょうね。

今まで母方の祖父の話はしてこなかった。けして悪人、犯罪人と言うわけではない。ただ写真一枚さえも残っておらず、抱かれた記憶もない人だったから。田んぼのたくさんある大きな農家に生まれた。「先祖は戦国の世、関所番をしていた。社のご神体が盗まれ、探索に遥か岐阜まで出かけた。しかし責務は果たし得なかった。腹を切るつもりで帰ってみると上杉謙信の手により関所は焼かれ、主君も自刃していた。先祖は召抱えてやるという話に(二君には仕えず)と百姓になるのを選択した」。嘘みたいな話だが実際、町史にその主君と母の実家の先祖が記されている。祖父は体が弱くという聞こえはいいが、田んぼが厭だったのだろう。田んぼを売っては商売をする。長続きせず、また田んぼを売る。という悪循環を繰り返し財産は軽くなって行った。優しい人だった、二人の子供を連れた祖母を後添いに迎えた。なかなか子宝に恵まれなかった。私の母は伯父と二人兄妹だが、その前に幾人の子たちが生まれてすぐに息を引き取っている。母の前に女の子が生まれ、すぐに死んだとき祖父は自分には子が授からないのだと号泣していたという。そして母が生まれた。祖父は苦しい顔で「どうせ、すぐ死ぬのだからあんたが名前を付けてくれ」と産婆さんに言ったという。そしてその子は短気でわがままな、天真爛漫でありあまり悩まず、すべてに無頓着で自信過剰ないつも自分が正しいと信じる、恐るべき女へと育っていく。生命力そのものであった。祖父は母が7のとき遍路の旅に四国へ出かける。そして道後温泉で牛乳一口飲むと静かに息絶えた。享年は60に届くかどうかであった。祖母と、母が迎えに着くと半眼だった目が閉じられたという。姿なく帰った祖父。後に伯父は「なぜ自分を連れて行かなかった」と猛然と祖母にくっつかかった。旅先から、母と年齢が離れ嫁いでいた義姉に「みさえさんへ、とよのり、とあきこ、よろしくたのみます」と、葉書が届いていた。戦災で焼けなかった、唯一の祖父の思い出の品になった。仏壇にあったと言う。今は確かめられないと言う。おばちゃんは捨てたりしないさ。生前、祖父は「とよのり、は男、育て上げるのはお前では無理だ。丁稚奉公に出すか、軍隊にいれよ」と祖母に語ったという。自分の人生を振り返ってのことだろう。祖父の話はこれにて。私の身内の叙述文は全て先祖供養の意味があるのです。報恩と感謝をこめて。

真由ちゃん、頑張ってね。沈黙の歌い手、多分彼女には、この本をつくるために天が係わらせてくれたのだろう。この本ができた時点で不思議とメール交換は無くなった。真由ちゃん離れていても君の心が

聞こえるよ。君に届くだろう僕の心が。尾崎の「ふたつの心」から少し引用しました。何があろうと、どこにしようとする私の愛は変わらない。

小澤慎一氏には、かねてより電子書籍、開示に際し、並々ならぬご尽力をお受けしました。またご指導、ご鞭撻も賜り、ここに衷心より謝意を表すものであります。氏のご存命でなければ、すべては机上の空論でした。廉価で、奉仕のような活動に、懸命にお力沿いを受けたこと、本当に感謝し、お礼の言葉は立山連峰ほど積み上げても足りません。本当にありがとうございます。ここに氏のご健勝とご活躍を祈り、今作の終わりを告げたいと思います。皆様、ご精読、今回もありがとうございました。

義人